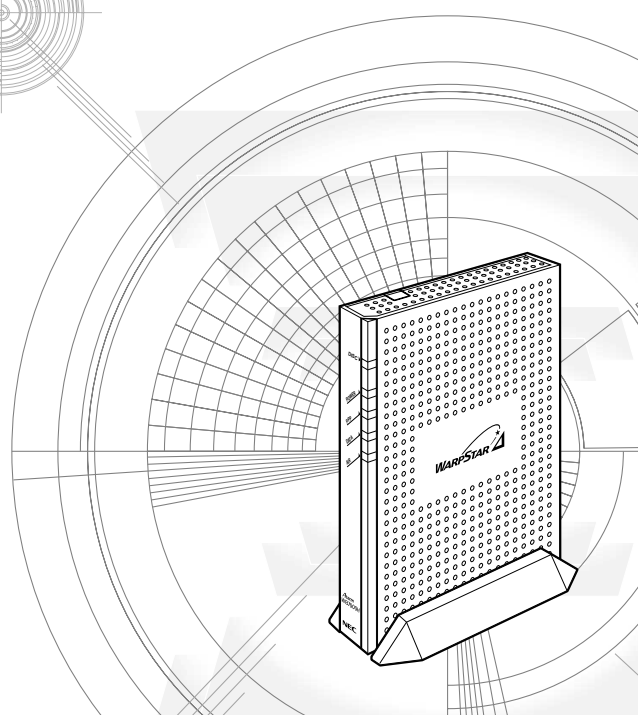
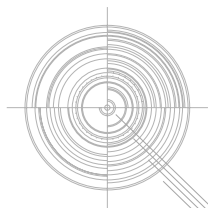


Aterm®WB7000H2

PA-WB7000/B2

Aterm®WB7000H ワイヤレスLANセット2 **11bカードタイプ** PA-WB7000/BC2

# 取扱説明書



準備編	<b>1</b>	お使いになる前に
導入編	<b>2</b>	WARPSTARに接続しよう
	<b>3</b>	らくらくウィザードでWARPSTARを設定する
	<b>4</b>	クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う
	<b>5</b>	インターネットに接続する
応用編	<b>6</b>	WARPSTARを活用しよう
ご参考	<b>7</b>	お困りのときには
	<b>8</b>	付録

- 本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-2ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

# はじめに

この度は「Aterm WB7000H2」または、「Aterm WB7000HワイヤレスLANセット2 (11bカードタイプ)」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

WARPSTAR<sup>ワップスター</sup>ベース「Aterm WB7000H2」(以下、親機と呼びます。)は、WARPSTARサテライト「Aterm WL11C2」(以下、子機と呼びます。)とIEEE802.11bに準拠したワイヤレス通信を行うことができるワイヤレスブロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

## マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



### つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



### 取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。



### 機能詳細ガイド(CD-ROM:HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。



### 用語解説(CD-ROM:HTMLファイル)

本書で使われている用語や、本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。



### お困りのときには(CD-ROM:HTMLファイル)

本商品の利用中にトラブルが起きたときの対処法について書かれています。

CD-ROMの操作方法について(▶P前文-16「電子マニュアルの見かた」)



## お知らせ

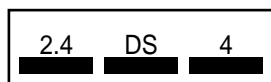
本文中では、Aterm WB7000H2 (WARPSTARベース)を親機、Aterm WL11C2 (WARPSTARサテライト)を子機と呼びます。

## ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm(エーターム)インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
- DS : 変調方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であること
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows®は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Mac、Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

AirMacは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Netscape®は米国 Netscape Communications Corporationの登録商標です。

“PlayStation®”は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。

JavaScript®は米国 Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。

Linux®は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Acrobat® Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2003、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2003

日本電気株式会社およびNEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# ソフトウェアのご使用条件

## お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意をいただけない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

## NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

### 1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

### 3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的のみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。




- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
  - (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。
4. 許諾プログラムの移転等
- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
  - (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。
5. 逆コンパイル等
- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
6. 保証の制限
- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
  - (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限りです。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
  - (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとします（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。
7. 責任の制限
- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。
8. その他
- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
  - (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

# 安全に正しくお使いいただくために

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## 警告

### 電源

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。

また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

本商品の電源プラグは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

電源プラグにもものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

## こんなときは

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にやめください。

本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてご購入店または、NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入店またはNEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

## 警告

### 禁止事項

本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

ぬれた手で本商品进行操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

### その他のご注意事項

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。  
電波により影響を受ける恐れがあります。

本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。  
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



## 注意

### 設置場所

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

## 注 意

### 電源

本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本商品の電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

感電防止のため、アース線の接続は必ず本商品の電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

### 禁止事項

本商品に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。  
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

**STOP** お願い

**設置場所**

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで50～100m程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また、距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。

本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

## STOP お願い

### 禁止事項

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

### 日ごろのお手入れ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

### その他のご注意

通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

### 無線 LAN に関する注意

無線 LAN 接続では、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ、遅くなることがあります。

無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

# 目次

ソフトウェアのご使用条件	前文-2
安全に正しくお使いいただくために	前文-4
目次	前文-11
「機能詳細ガイド」目次	前文-14
電子マニュアルの見かた	前文-16

## 準備編

### お使いになる前に

1 章 お使いになる前に	1-1
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-10
1-3 各部の名前とはたらき	1-11
WB7000H2 (親機)	1-11
WL11C2 (子機)	1-13
1-4 あらかじめ確認してください	1-14
回線契約とプロバイダの加入について	1-14
パソコンの準備	1-15

## 導入編

### インターネットに接続しよう

設定方法について	導入-1
セットアップの流れ	導入-2

## 2 章 WARPSTAR に接続しよう

2-1 親機を設置する	2-2
親機の置き場所を決めよう	2-2
縦置きスタンドを取り付ける	2-2
2-2 電源を接続する	2-3
2-3 ブロードバンド (ADSL/CATV) モデムまたは FTTH 回線終端装置と接続する	2-4

## 3 章 らくらくウィザードで WARPSTAR を設定する

設定の流れ	3-2
3-1 子機 (WL11C2 など) から無線 LAN 接続する	3-3
子機で無線 LAN 接続する場合	3-3
らくらくウィザードをインストールする	3-4

3-2	有線で接続する	3-24
	新規の ETHERNET ポートにパソコンを接続する	3-24
	らくらくウィザードをインストールする	3-25
3-3	無線 LAN 内蔵パソコンから接続する	3-37
	無線 LAN 内蔵パソコンの設定	3-37
	WARPSTAR の設定	3-39

<b>4 章</b>	<b>クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う</b>	<b>4-1</b>
	設定の流れ	4-2
4-1	クイック設定 Web で設定を行うには	4-3
	親機を接続する	4-3
	クイック設定 Web を利用するための準備	4-3
4-2	インターネット接続のための基本設定	4-4
4-3	PPPoE マルチセッションの設定	4-8

<b>5 章</b>	<b>インターネットに接続する</b>	<b>5-1</b>
5-1	インターネットに接続する	5-2
5-2	インターネットを切断する	5-3
	無通信監視タイマ	5-3
	DISC スイッチで回線を切断する	5-3

<b>応用編</b>	<b>本商品をさらに使いこなそう</b>
------------	----------------------

<b>6 章</b>	<b>WARPSTAR を活用しよう</b>	<b>6-1</b>
6-1	セキュリティ対策をする	6-2
	セキュリティ機能について	6-2
	他の無線 LAN パソコンから親機に接続できないようにする	6-3
	ESS-ID ステルス機能を設定する	6-3
	MAC アドレスセキュリティ機能	6-5
	無線暗号化を設定する	6-7
6-2	子機の通信の設定をする	6-9
6-3	ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を 利用する	6-20
	アドバンスド NAT (ポートマッピング) を設定する	6-20
	PPPoE ブリッジ機能	6-22
	シングルユーザアクセスモード	6-23
6-4	ゲーム機を接続する	6-25
	WARPSTAR の設定	6-25

6-5	HUBとして使う(ルータ機能を停止する).....	6-26
	HUBモード設定.....	6-27
6-6	TV電話をする(Windows Messengerを利用する).....	6-29
6-7	親機をバージョンアップする.....	6-30
6-8	2台目以降のパソコンを接続する.....	6-33
	子機を増設する.....	6-33

ご参考

## 7章 お困りのときには.....7-1

7-1	トラブルシューティング.....	7-2
	設置に関するトラブル.....	7-2
	ユーティリティに関するトラブル.....	7-15
	ご利用開始後のトラブル.....	7-20
	添付のCD-ROMに関するトラブル.....	7-23
7-2	親機を初期化する.....	7-24
	クイック設定Webで初期化する.....	7-24
	ディップスイッチで初期化する.....	7-25
7-3	自己診断.....	7-26
	自己診断を行う.....	7-26

## 8章 付録.....8-1

8-1	製品仕様.....	8-2
	WB7000H2(親機)ハードウェア仕様.....	8-2
	WB7000H2のディップスイッチ.....	8-3
	WB7000H2のETHERNETポートインタフェース.....	8-4
	WL11C2(子機)仕様.....	8-5
8-2	別売りオプション.....	8-6
8-3	お問い合わせ・アフターサービス.....	8-7
	ホームページ「AtermStation」.....	8-7
	インフォメーションサービス.....	8-7
	PCクリーンスポットの訪問サポート.....	8-8
	修理について.....	8-9
	持ち込み修理先一覧.....	8-10
8-4	用語解説.....	8-15
8-5	索引.....	8-17

## 「機能詳細ガイド」目次

添付CD-ROM「ユーティリティ集」には本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。以下に記載されている項目を示します。電子マニュアルの見かたについては、前文-16ページを参照してください。

こんな機能が使いたい

### 機能一覧

#### ルータ機能

ブロードバンドルータ機能	アドバンスド NAT (IP マスカレード/NAPT)
アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング)	静的 NAT
IP パケットフィルタリング	ダイナミックポートコントロール機能
DHCP サーバ機能	DNS フォワーディング
不正アクセス検出機能	通信情報ログ (アクセスログ機能)
HUB モード	UPnP 機能
DMZ ホスティング機能	静的ルーティング
RIP	

#### WAN 側機能

PPPoEブリッジ	PPPoE マルチセッション
複数固定 IP サービス対応	シングルユーザアクセスモード
無通信監視タイマ	PPP キーブライブ
VPN パススルー機能	

#### パソコンインターフェース

100BASE-TX/10BASE-T 対応スイッチング HUB (4 ポート)

#### 無線機能 (カード装着時のみ)

IEEE802.11b 無線 LAN	WEP と 128bitWEP
MAC アドレスセキュリティ機能	ネットワーク名 (ESS-ID) によるセキュリティ機能
ESS-ID ステルス機能	WAP 機能 (無線 HUB モード)
パソコン間通信 (アドホックモード)	ワイヤレス LAN 中継機能
親機同時設定機能	AirMac 対応のパソコンでインターネット接続

#### その他の機能

管理者用パスワードの設定	時刻設定
通信確認 (疎通確認テスト)	情報表示 (装置情報、状態表示)
ファームウェアの更新	



## クイック設定 Web の使い方

無線機能

無線セキュリティ

子機の使い方

サテライトマネージャの設定 (Windows® のみ)

ドライバのインストール

Windows® XP の [ワイヤレスネットワーク接続] の暗号化設定のしかた / 使い方

Windows® XP の [ワイヤレスネットワーク接続] で利用できるネットワークが複数存在する場合

応用機能

外部にサーバを公開する

ネットワーク対応アプリケーション

ファイルとプリンタの共有

ユーティリティの使いかた

らくらくウィザードで設定する

サテライトマネージャの設定

ETHERNET ボックスマネージャの使いかた (WL11E Windows® のみ)

WL11E2 の使いかた

## 電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

### 1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。

Macintosh の場合は、[ MENU ] アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。

ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

### 2 読みたいファイルのボタンをクリックする

画面は Windows® の例です。



## お知らせ

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWWブラウザがインストールされている必要があります。

## 本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、メニュー画面に表示される「本 CD-ROM について」をクリックしてよくお読みください。

パソコンに表示されるガイドに従って本商品の基本的な設定やインターネット接続のための設定などを行う「らくらくウィザード」(Windows® 版)

子機(無線 LAN カード)の無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)

子機(無線 LAN カード)用のドライバー式(Windows® 版)

機能や操作の方法などを説明している取扱説明書、機能詳細ガイドなどマニュアル類一式(PDF ファイル、HTML ファイル)(Windows® 版、Macintosh 版)

### 使用上のご注意

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE でご使用の方

添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の [ スタート ] をクリックし、[ ファイル名を指定して実行 ] を選択する名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[ OK ] をクリックする  
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥Menu.exe)

また、パソコンにより異なりますが、メニューを自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。

- ・ ご使用のパソコンの表示色数の設定によっては表示画面上の色が乱れる場合があります。この場合はメニュー画面以外の部分(デスクトップ等)をクリックしてください。
- ・ CD-ROM をパソコンから取り出す時には、必ずメニューを終了させた後におこなってください。メニューが起動中に CD-ROM を取り出すとパソコンの動作が不安定になることがあります。
- ・ Windows® XP/2000 Professional でらくらくウィザードのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

Mac OS X/9.x/8.6 (日本語版) でご使用の方

- ・ CD-ROM をドライブにセットしてもウィンドウが開かないときには、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
- ・ Mac OS X はクラシックモードでご利用ください。

## CD-ROM の動作環境

### Windows® 動作環境

- Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。
- 推奨環境
  - ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨
  - Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  - メモリ 32MB 以上
  - 800 × 600 Hi-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ

### Macintosh 動作環境

- Mac OS X/9.x/8.6 (日本語版) が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。
  - 推奨環境
    - ハードディスクの空き容量：10MB 以上を推奨
    - Mac OS、Mac OS X の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
    - 800 × 600 32000 色以上表示可能なカラーモニタ
    - 32MB 以上の空きメモリ
- WL11C2 は Macintosh ではご使用になれません。



## お知らせ

PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat® Reader4.0J 以上が必要です。メニューの「Acrobat Reader のインストール」をクリックするか、「READER」フォルダに含まれるファイルをダブルクリックすることでインストールすることができます。Acrobat® Reader の使用条件や最新の情報については、アドビシステムズ社のホームページをご覧ください。

機種によっては不要またはご使用になれないファイルがありますので、ご使用にあたってはルートにある「README」または「はじめに」をご覧ください。

「FW」フォルダ内のファームウェアはバックアップ用のものです。

最新のファームウェアは弊社ホームページ「AtermStation」から入手してください。「AtermStation」のアドレスについては、P8-7 をご参照ください。

### 表示画面

- サイズ：800 × 600 ピクセル以上
- 色：Hi-color (24 ビット) 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

メニュー画面と「らくらくウィザード」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

- Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す



# 準備編

お使いになる前に

準備編

1 章 お使いになる前に ..... 1-1

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 Second Edition は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

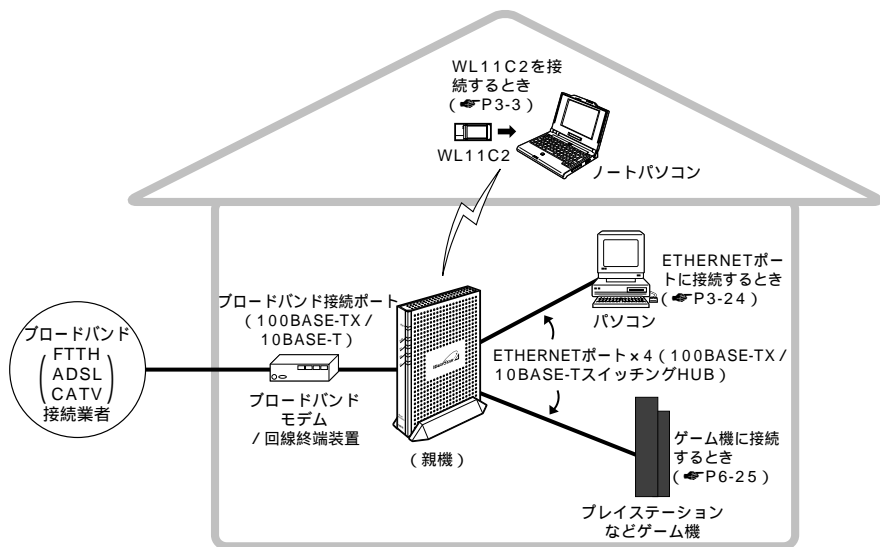
# 1

## お使いになる前に

- 1-1 本商品でできること ..... 1-2
- 1-2 箱の中身を確認しよう ..... 1-10
- 1-3 各部の名前とはたらき ..... 1-11
- 1-4 あらかじめ確認してください ..... 1-14

## 1-1 本商品でできること

本商品は、外付けADSLモデム / CATVケーブルモデム / FTTH回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。



本書の「導入編」では、親機または子機に接続したパソコンでインターネットに接続するまでを案内しています。

本商品では、さらに本書の「応用編」および添付CD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。

設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

本書では、ADSLモデム、CATVモデムをブロードバンドモデム、FTTH回線終端装置を回線終端装置と呼びます。

## 無線 LAN 通信でできること

### できること

子機 (WL11C2) から親機にワイヤレス LAN IEEE802.11b に準拠した無線接続をすることができます。

- ・ 子機に接続されたパソコンから電波の届く範囲なら好きな場所からインターネット接続できます。
- ・ 親機に接続されたパソコンと子機に接続されたパソコン間でファイルのやりとりができます。

### 通信速度と電波の届く範囲

ワイヤレスで届く範囲は次のとおりです。環境によって異なります。

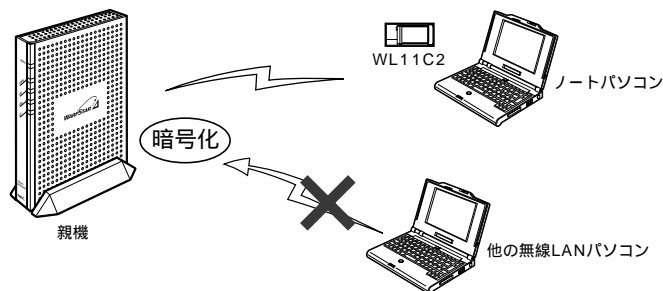
[見通し]

50m (11Mbps) ~ 180m (1Mbps)

### 無線 LAN 内のセキュリティ対策

親子機間の通信が外から覗かれたり、親機に他の子機が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをおすすめします。

他の無線 LAN パソコンから親機に接続されるのを防いだり、親子機間の通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。(☛P6-2)



1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

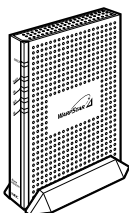
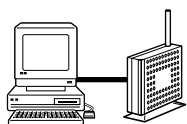


## 子機を増設する (☞P6-33)

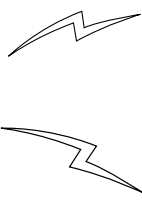
子機として別売りのWL11C2/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL54AG/WL11U/WL11E/WL11E2を増設できます。

接続できるパソコンはETHERNETポート接続のパソコンも含めて全部で32台までです。インターネットへの同時接続利用は、10台以下でのご使用をお勧めします。増設できるWL11Eは6台までです。

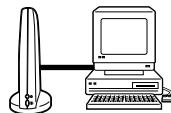
(WL11E/WL11E2) ETHERNETポート接続



親機

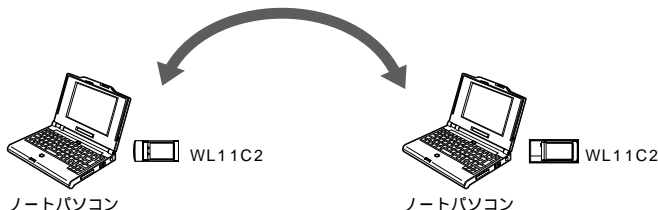


(WL11C2/WL11CB/WL11CA/  
WL11C/WL54AG)



(WL11U) USB接続

子機同士で通信する (アドホックモード) (CD-ROM 機能詳細ガイド)  
親機を経由しないで子機同士でデータ通信ができます。



## セキュリティ対策をする (☞P6-2)

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(CD-ROM 機能詳細ガイド)

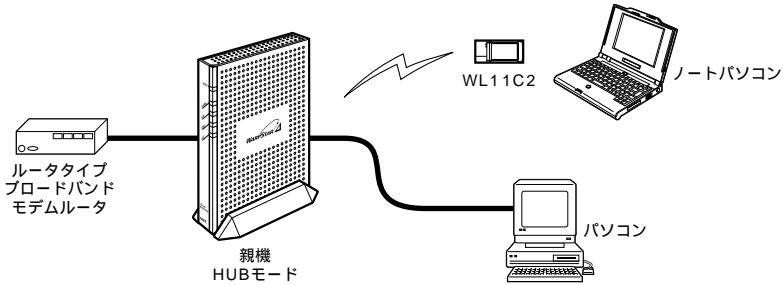
- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ IP マスカレード機能 (アドバンスド NAT)
- ・ 不正アクセス検出
- ・ ダイナミックポートコントロール機能

無線 LAN 内のセキュリティ機能については P1-3 を参照してください。

## 本商品を HUB として使う (ルータに接続する場合など)

(☛P6-26)

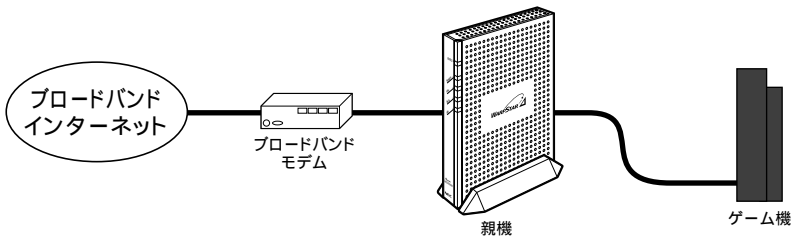
ルータタイプのブロードバンドモデムやルータに接続するとき、本商品のルータ機能を停止して使用することができます。



## ゲーム機を接続する (☛P6-25)

“PlayStation® 2” などゲーム機を接続することができます。

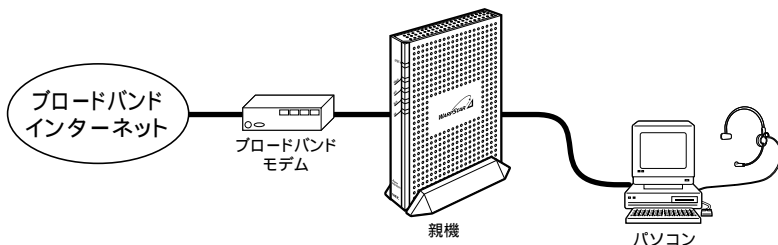
使用するゲーム機やゲームが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能 (☛P6-22) で接続できます。



## パソコンのネットワークゲームやTV 電話を利用する

PPPoEブリッジ機能やポートマッピングの設定、シングルユーザアクセスモードを利用してネットワークゲームをすることができます。(☛P6-20)

また、UPnP 機能を使用して Windows® XP の “Windows Messenger” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。(☛P6-29)



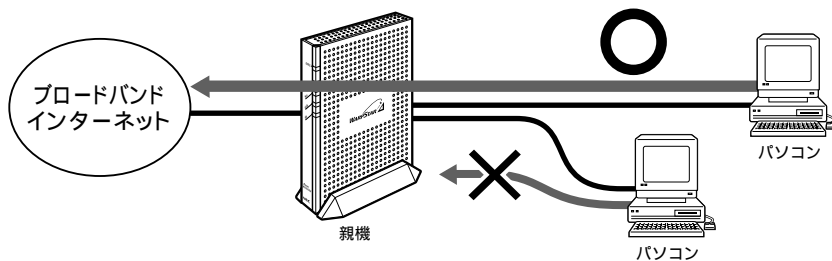
(次ページに続く) 1-5

1

お使いになる前に

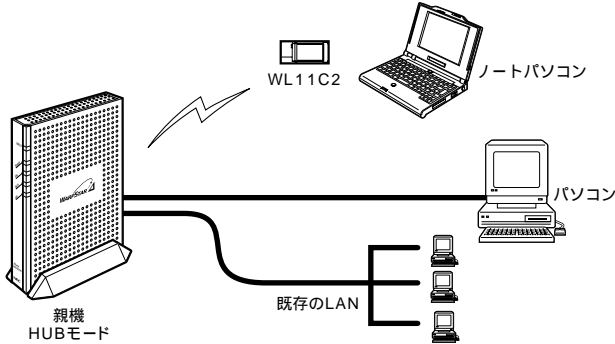
### シングルユーザアクセスモード (P6-23)

- ・ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に一台のパソコンでインターネット接続を占有できます。



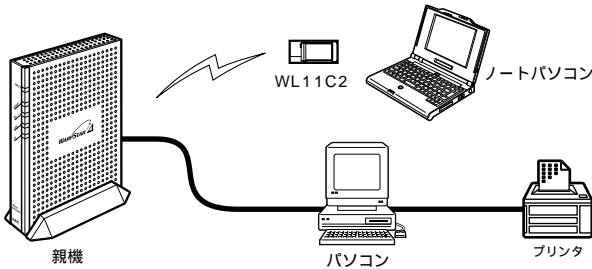
本商品を HUB として使う (既存 LAN に接続する場合など)  
 (☛ P6-26)

既存 LAN に有線・無線で接続する場合、本商品のルータ機能を停止して HUB か無線アクセスポイントとして使用することができます。



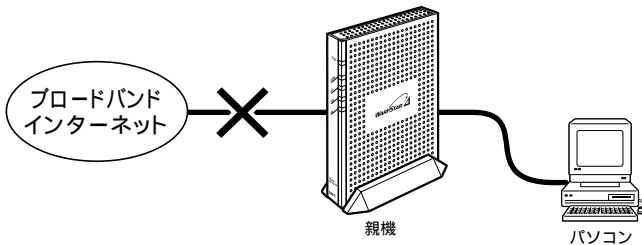
ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(📀 機能詳細ガイド)




インターネットの通信を切断する

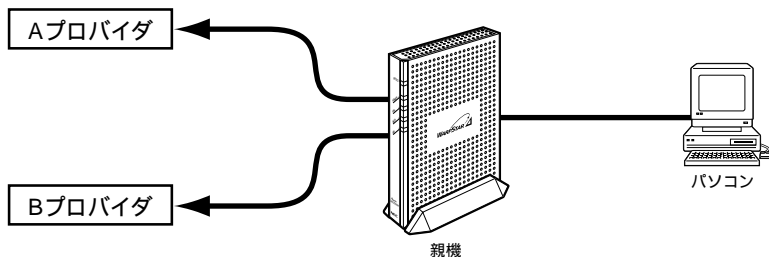
- ・ クイック設定 Web (📀 機能詳細ガイド)
- ・ DISC スイッチ (☛ P5-3)
- ・ 無通信監視タイマ (📀 機能詳細ガイド)



## 複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する


(  機能詳細ガイド )

クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。

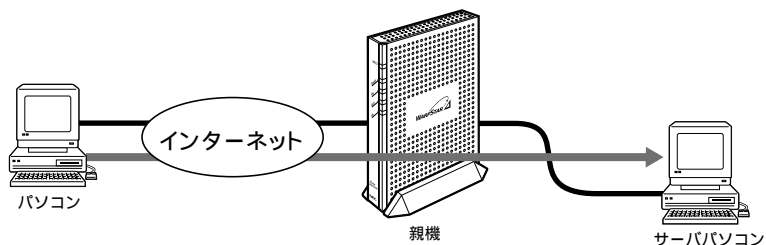


## SOHO で使用するとき便利な機能 ( 機能詳細ガイド )


ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する

(  機能詳細ガイド )

アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング) DMZ ホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。




複数のグローバル固定IPアドレスを付与するサービスを利用する  
(複数固定IPアドレス対応)( 機能詳細ガイド)

会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する  
(VPN(PPTP/IPsec)パススルー機能)( 機能詳細ガイド)  
VPN(PPTP/IPsec)パススルー機能を利用してVPN(Virtual Private Network: 仮想閉域網)にPPTP/IPsecで接続できます。

## 知っておくと便利な機能

親機をバージョンアップする(☞P6-30)

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては親機の動作を改善します。

親機の設定を保存する( 機能詳細ガイド)

クイック設定Webで、現在の親機の設定内容を保存できます。親機を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから親機に設定内容を復元することができます。

親機を初期化する(☞P7-24)

親機の設定内容を工場出荷の状態に戻します。

親機がうまく動作しない場合や、もう一度初めから親機を設定したいときにお使いいただけます。

1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

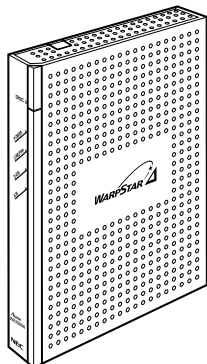
## 1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

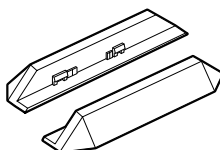
## 構成部品

WB7000H2

[ 親機 (WARPSTAR ベース) ]

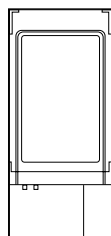


縦置きスタンド



WL11C2

[ 子機 (WARPSTAR サテライト) ]



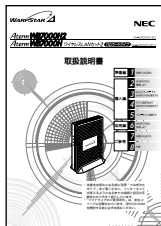
ワイヤレスLANセットのみ添付されています。

ETHERNET ケーブル (ストレート)

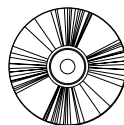


WB7000H2 にパソコンを接続する場合は市販のETHERNETケーブルをご購入ください。

取扱説明書(本書)



つなぎかたガイド

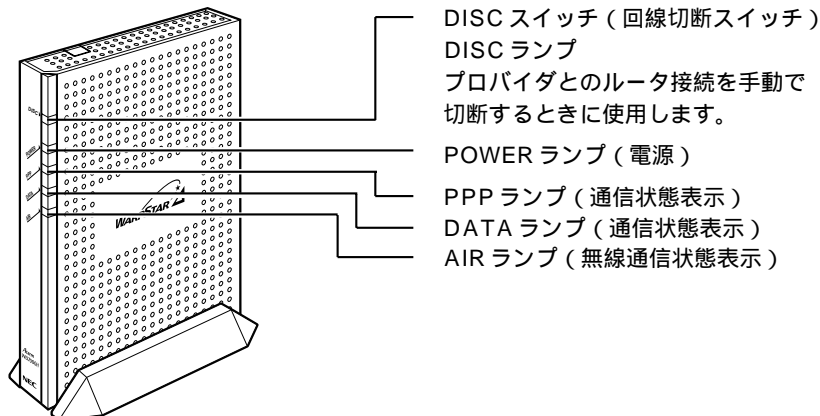
CD-ROM  
(ユーティリティ集)

保証書

## 1-3 各部の名前とはたらき

## WB7000H2 (親機)

前面図



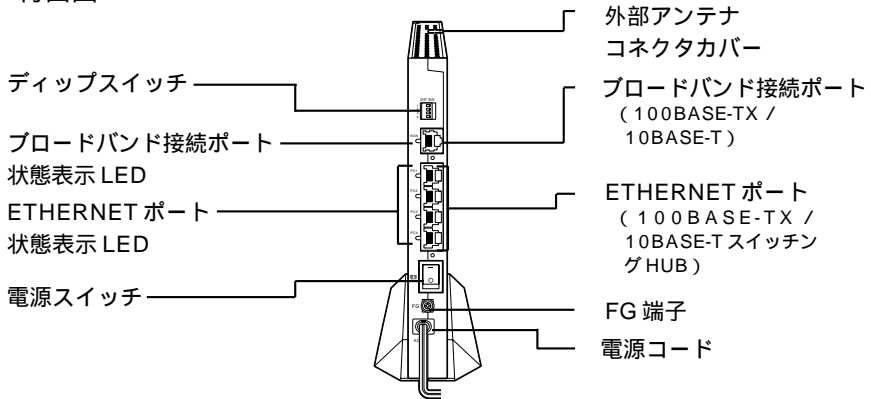
## 【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	本商品の状態
DISC ランプ	緑 (点灯)	WAN 側 (ADSL モデム / CATV ケーブルモデムなど) と接続中
	赤 (点灯)	DISC スイッチによって WAN 側との接続を不可にしているとき
	消灯	WAN 側と接続していないとき
POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤 (点滅)	バージョンアップが失敗したとき
PPP ランプ (通信状態表示)	緑 (点灯)	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑 (遅い点滅)	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に PPP の認証が失敗したとき (1 秒間隔) (☞P7-8)
	緑 (速い点滅)	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に相手先から応答がないとき (☞P7-8)
	消灯	ローカルルータモードで利用しているとき
DATA ランプ (通信状態表示)	緑 (点滅)	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中
AIR ランプ (無線通信状態表示)	緑 (点滅)	無線でデータ送受信中のとき
	赤 (点滅)	無線子機が接続されたとき約 0.5 秒間点灯します。

このままではご利用になれません。お近くの NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。

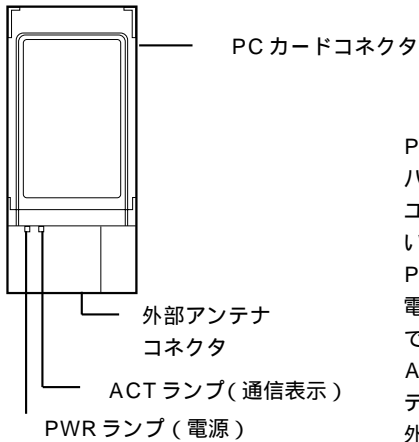


## 背面図



名称	説明	
ディップスイッチ	親機の初期化・自己診断をするときや HUB モードで使用するときに使います。	
ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)	ブロードバンドモデムとの接続に使います。	
ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T スイッチング HUB)	パソコンまたはハブやゲーム機との接続に使います。	
FG 端子	アース線を取り付ける端子です (アース線は添付されていません)。	
電源コード	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。	
ブロードバンド接続ポート状態表示 LED	緑点灯	ブロードバンドモデムが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	ブロードバンドモデムとデータ送受信中
ETHERNET ポート状態表示 LED	緑点灯	パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	パソコンまたはハブとデータ送受信中
電源スイッチ	電源の入/切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「-」側を押します。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。	
外部アンテナコネクタカバー	外部アンテナを接続するときにカバーを切り取って使います。	

## WL11C2 (子機)



## PCカードコネクタ

パソコンのPCカードスロットに差し込みます。ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

## PWRランプ(電源)

電源が入っており、無線状態が正常なとき緑色で点灯します。

## ACTランプ(通信表示)

データ通信中に青色で点滅します。

## 外部アンテナコネクタ

外部アンテナを接続するときに使用します。

お願い

PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

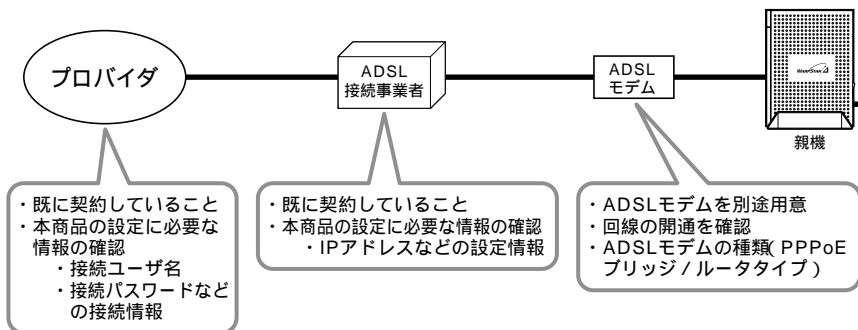
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

## 回線契約とプロバイダの加入について

### ADSL 接続の場合

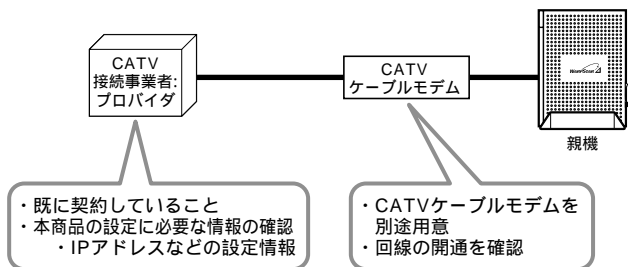
ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。



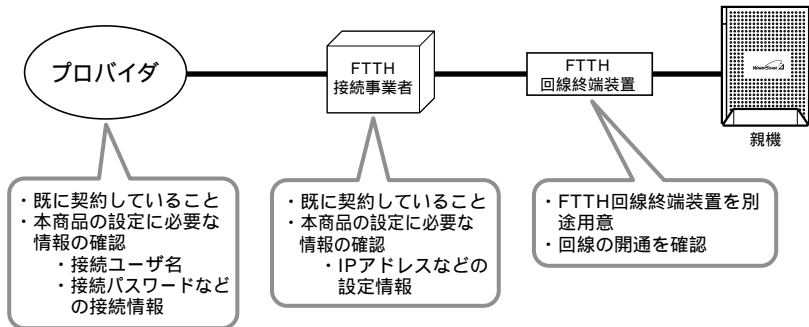
### CATV (ケーブルテレビ) インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。



## FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめFTTHサービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。



接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation (P8-7) の「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

## パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

### 親機に有線で接続する場合

- ・ イーサネットETHERNET ポート (LAN ポート) を装備していること  
ETHERNET ポートで接続する場合は、パソコンに ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T ポート、LAN ポートとも呼ばれます) が必要です。お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX / 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること  
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合は添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンのネットワークの設定を確認すること (P1-17)
- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること (P1-22)
- ・ プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること

### 子機 (WL11C2) から無線で接続する場合

- ・ PC カード TYPE 準拠のカードスロットが装備されていること
- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること (P1-22)
- ・ プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること

## 接続可能な機器

	親機 (ETHERNET ポート)	子機 (WL11C2)
Windows®		Windows® XP/2000 Professional /Me/98SE (日本語版)
Macintosh		×
その他 OS (Linux 等)		×
ゲーム機		×

### お願い

お使いのパソコンにプロキシの設定がされている場合や、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイアウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定やファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

## パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定がWindows® の場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」、Macintosh の場合は、「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

Windows® をご利用の場合 ← P1-17 ~ P1-20

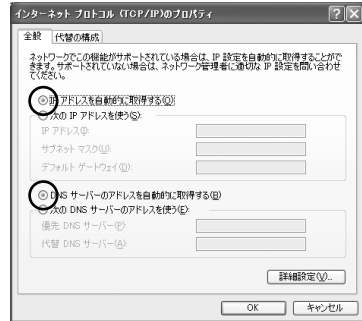
Macintosh をご利用の場合 ← P1-21

### Windows® をご利用の場合

#### Windows® XP をご利用の場合

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする



1

お使いになる前に



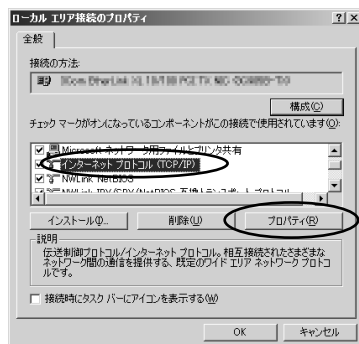
お知らせ

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

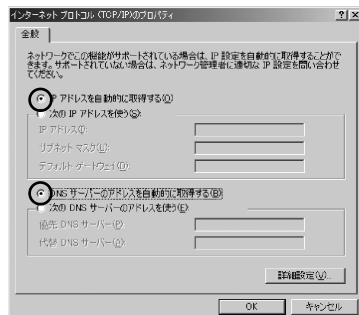
本書では、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示モード) を前提に記述しています。

## Windows® 2000 Professional をご利用の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 [IP アドレスを自動的に取得] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



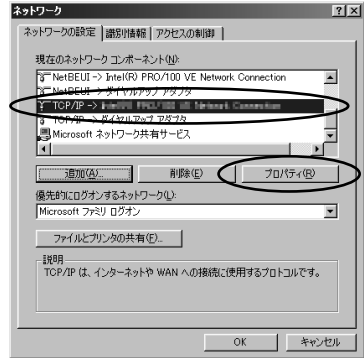
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする

Windows® Me/98SE/98 をご利用の場合

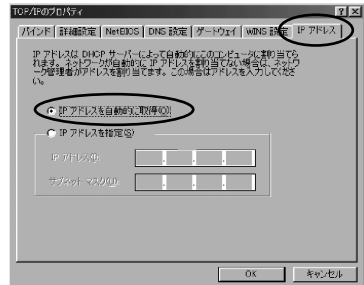
1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

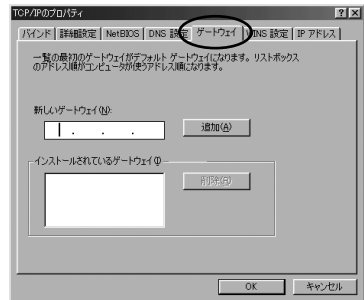
3 リストの [TCP/IP-> (お使いの LAN カードまたはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



1

お使いになる前に



- 6 [ DNS 設定 ] タブをクリックし、  
[ DNS を使わない ] を選択する



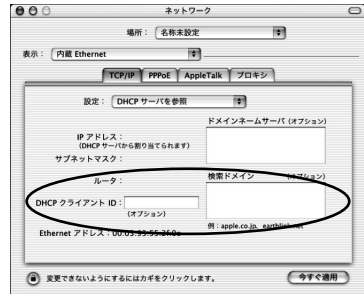
- 7 [ OK ] をクリックする

- 8 [ OK ] をクリックする

## Macintosh をご利用の場合

### Mac OS X をご利用の場合

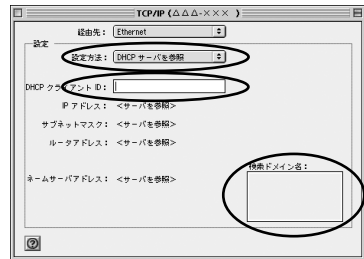
- 1 アップルメニューの [ システム環境設定 ] を開き、[ ネットワーク ] アイコンをクリックする
- 2 [ 表示 ] を [ 内蔵 Ethernet ] にし、[ 設定 ] を [ DHCP サーバを参照 ] にする
- 3 [ DHCP クライアント ID ] と [ 検索ドメイン ] を空白にする



- 4 [ 今すぐ適用 ] をクリックし、ウィンドウを閉じる  
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

### Mac OS 9.x/8.6 をご利用の場合

- 1 アップルメニューの [ コントロールパネル ] - [ TCP/IP ] を開く
- 2 [ 経由先 ] を [ Ethernet ] にする
- 3 [ 設定方法 ] を [ DHCP サーバを参照 ] にし、[ DHCP クライアント ID ] と [ 検索ドメイン名 ] を空白にし、ウィンドウを閉じる



画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

- 4 確認のダイアログが表示されたら [ 保存 ] をクリックする  
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

## WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) の設定を「ダイヤルしない」に変更します。以下は Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境 (プロバイダやソフトウェア等) によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。

[ ツール ] の [ インターネットオプション ] を選択します。

[ 接続 ] タブをクリックします。

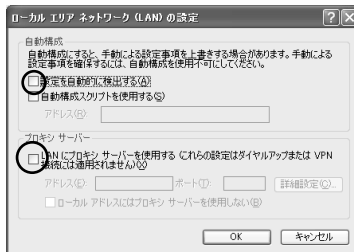
ダイヤルアップの設定の欄で、[ ダイヤルしない ] を選択してください。



[ LAN の設定 ] をクリックします。

[ LAN にプロキシサーバーを使用する ] と「設定を自動的に検出する」の  をはずします。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



### お知らせ

プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム (プロバイダへの申し込みソフト) は、ダイヤルアップ接続 (モデムやターミナルアダプタの接続) 専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

## JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® XP、Mac OS X.x で Internet Explorer をお使いの場合の例です。その他の OS や Netscape での設定については「お困りのときには」(HTML ファイル)を参照してください。

Windows® XP の場合 (Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。)

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [クラシック表示に切り替える] - [インターネットオプション] をダブルクリックする
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 3 [サイト] をクリックする
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックをはずす
- 5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://web.setup/」を入力し [追加] をクリックし、[OK] をクリックする  
設定画面を IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力してひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き（矢印）をクリックし、画面をスクロールする



8 [アクティブ スクリプト]を[有効にする]に変更し、[OK]をクリックする



9 [適用]をクリックする

10 [OK]をクリックする

Mac OS X.x の場合( Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。)

- 1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの [ Explorer ] から [ 環境設定 ] をクリックする
  - 2 [ Web ブラウザ ] から [ セキュリティゾーン ] をクリックする
  - 3 [ ゾーン ] から [ 信頼済みサイトゾーン ] をクリックする
  - 4 [ サイトの追加 ] をクリックする
- 
- 5 [ 追加 ] をクリックする
  - 6 「http://web.setup/」と入力する  
設定画面を IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力してひらく場合には、「192.168.0.1」(または設定した IP アドレス) と入力します。
  - 7 [ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする ] のチェックをはずす
  - 8 [ Web ブラウザ ] から [ Web コンテンツ ] をクリックする
  - 9 [ アクティブコンテンツ ] で、[ スクリプトを有効にする ] にチェックを入れる
  - 10 [ OK ] をクリックし、メニューバーの [ Explorer ] から [ Explorer 終了 ] をクリックする  
アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

1

お使いになる前に

# 導入編

インターネットに接続しよう

設定方法について .....	導入-1
セットアップの流れ .....	導入-2
2章 WARPSTAR に接続しよう .....	2-1
3章 らくらくウィザードで WARPSTAR を 設定する .....	3-1
4章 クイック設定 Web で WARPSTAR の 設定を行う .....	4-1
5章 インターネットに接続する .....	5-1

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 Second Edition は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

# 設定方法について

本商品を設定するには、次の2つの設定方法があります。初めて設定する場合には、らくらくウィザードが便利です。

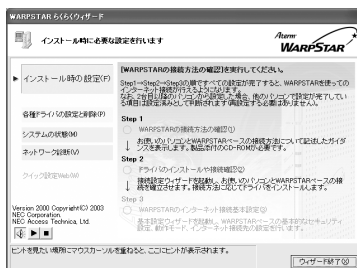
Windows® パソコンで子機のドライバをインストールする場合やインターネット接続までの基本設定をする場合

らくらくウィザード(ユーティリティ)で設定する

パソコンの接続 回線の設定 インターネット接続までの設定がステップに従って簡単に行えます。

また、子機(WL11C2)のドライバのインストールが簡単に行えます。

<画面例>



<らくらくウィザードが利用できるパソコン>

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE (日本語版)

音声ガイドを再生するには、パソコンにWAVファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

Macintosh や Linux など Windows® 以外のパソコンやネットワークゲーム機などから設定する場合  
本商品の詳細な設定を変更する場合

クイック設定 Web (WWW ブラウザ)

で設定する

本商品のすべての設定が行えます。

<設定できる WWW ブラウザ>

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応

Netscape® 6.1 以上に対応

Mac OS X/9.x/8.6 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応

Netscape® 6.0.1 以上に対応

NetFront for (デルタ)(株式会社 ACCESS)(“PlayStation® 2”用ブラウザ)(基本設定のみ)

クイック設定 Web からの設定では、子機(WL11C2)のドライバのインストールが行えません。子機(WL11C2)から設定を行う場合は、らくらくウィザードで子機(WL11C2)のドライバのインストール後、親機との通信が確立してからクイック設定 Web での設定を行ってください。

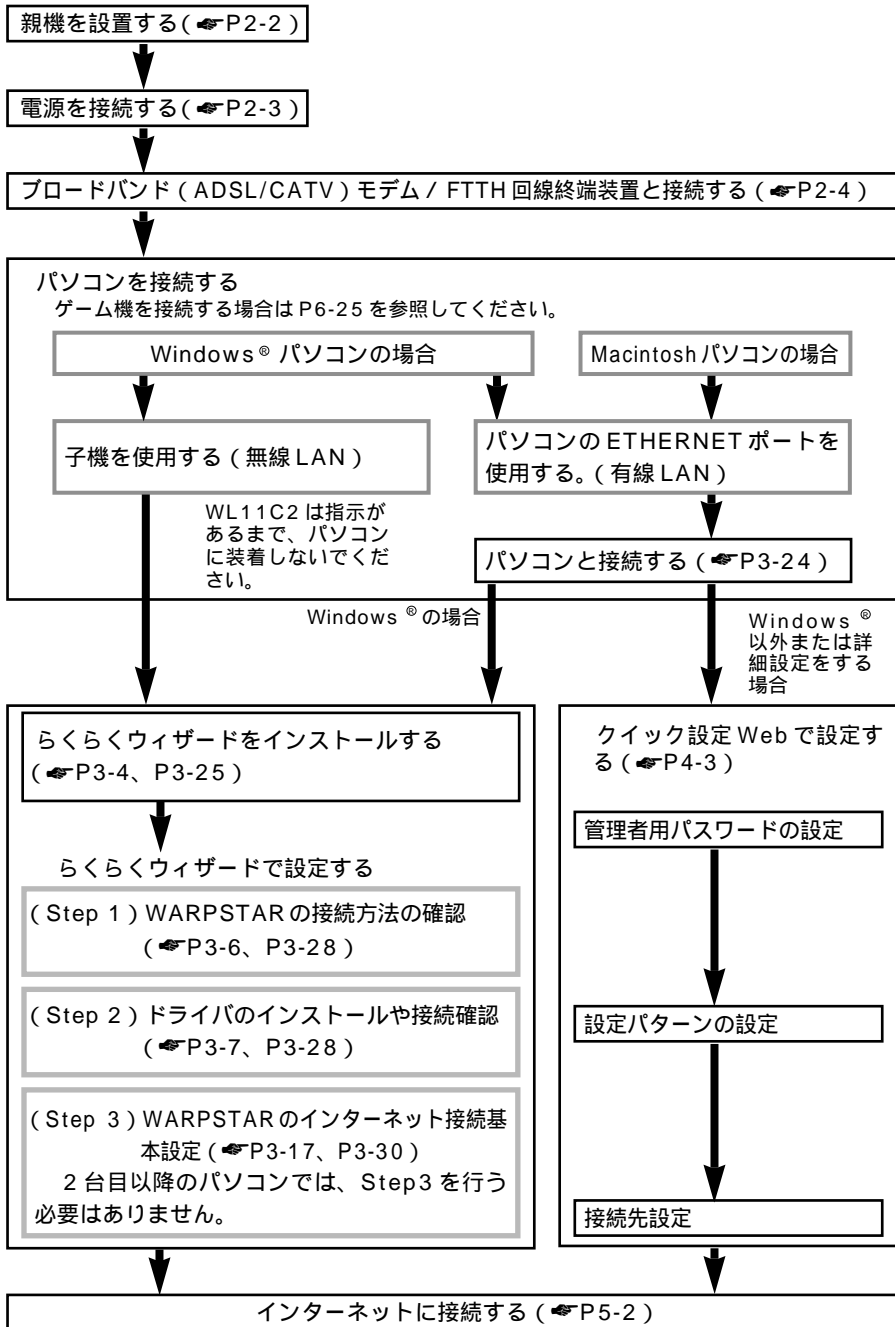
<画面例>





# セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れです。



# 2

## WARPSTAR に接続しよう

- 2-1 親機を設置する .....2-2
- 2-2 電源を接続する .....2-3
- 2-3 ブロードバンド (ADSL/CATV) モデムまたは  
FTTH 回線終端装置と接続する .....2-4

## 2-1 親機を設置する

### 親機の置き場所を決めよう

親機には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

親機はADSLモデム / CATVケーブルモデムのそばに置こう

親機用の電源コンセントはありますか？

親機用の電源コンセントを確保しましょう。

子機は親機から無線で電波の届く距離に置こう

ただし、設定が完了するまでは親機のそばに置いておきます。



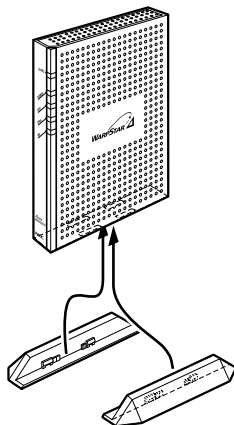
### お知らせ

ワイヤレスで届く範囲は見通し（間に障害物が何もない状態）で次のとおりです。（ ）内の速度は目安です。壁や家具、什器など周囲の環境により変動します。

[見通し] 50m (11Mbps) ~ 180m (1Mbps)

### 縦置きスタンドを取り付ける

図のように親機に縦置きスタンドを取り付けます。



### お願い

親機は絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損する可能性があります。また、壁などに近づけて設置しないでください。

## 2-2 電源を接続する

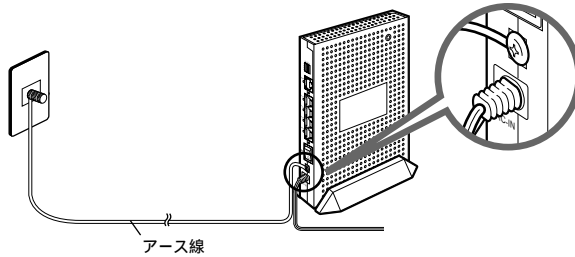
アース線と電源をそれぞれ接続します。

1

親機の FG 端子と壁のアース端子をアース線で接続する

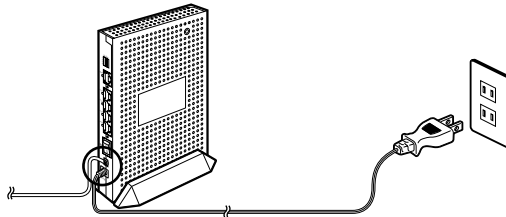
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。

アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。



2

親機の電源コードを壁の電源コンセントに接続する



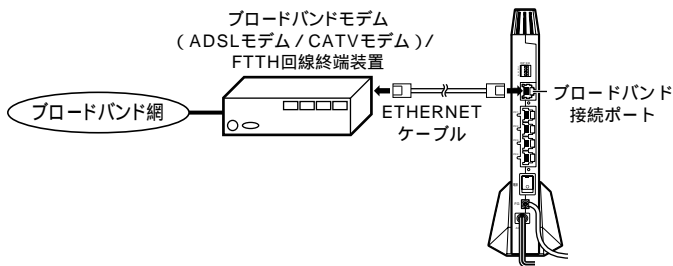
2

WARPSTARに  
接続しよう

## 2-3 ブロードバンド(ADSL/CATV)モデムまたはFTTH回線終端装置と接続する

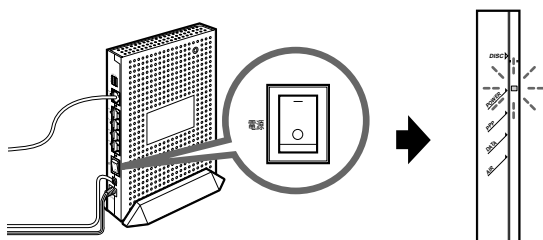
親機にブロードバンド(ADSL / CATV)モデムやFTTH回線終端装置を接続する場合は、次の手順で接続します。

- 1 ブロードバンドモデムまたはFTTH回線終端装置が、回線に正しく接続されていることを確認する  
ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認しておくことをおすすめします。
- 2 親機のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデムまたはFTTH回線終端装置をETHERNETケーブルで接続する

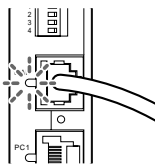


添付のETHERNETケーブルは1本のみです。添付のケーブルをパソコンとの接続に使用する場合は、市販のETHERNETケーブルを使用してください。

- 3 親機の電源スイッチを入れる(「-」側を押す)  
前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯します。



- 4 ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する  
(点灯しない場合は次ページを参照してください。)



お願い

親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

## ① ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは、親機とブロードバンドモデム / FTTH 回線終端装置が正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

ETHERNET の接続を確認する

親機のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたはFTTH 回線終端装置にETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認する

接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル (カテゴリ - 5)」であることを確認してください。(☛P8-4)

ブロードバンドモデム / FTTH 回線終端装置の電源が入っているか確認する  
親機の電源が入っているか確認する

～ を行っても解決しない場合は、親機を初期化する

親機の設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「7-2 親機を初期化する」(☛P7-24)を参照してください。

～ を行っても問題が解決しないときは、親機が故障している場合があります。最寄りの NEC 保守サービス受付拠点 (☛P8-10) へお問い合わせください。

## ❗ ブロードバンドモデムの種類と本商品の動作モードについて

ブロードバンドモデムによって設定する本商品の動作モード( PPPoE モード、ローカルルータモード、無線 HUB モード)が異なりますので、あらかじめ確認しておきましょう。実際の設定は、らくらくウィザード、クイック設定 Web の設定の中で行います。  
 < 回線種別と動作モード >

回線の種別	接続事業者(例)(敬称略)	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード ( 1 )
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー(ホームタイプ)	
	有線ブロードネットワークス (IP 接続で接続する事業者の場合)	
ADSL 回線に接続	NTT 東日本 / 西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード ただし、ルータタイプの ADSL モデムを利用する 場合は、無線 HUB モード での利用をお勧めします。
	イー・アクセス ( 2 )	ローカルルータモード または、無線 HUB モード ( 3 )
	アッカ・ネットワークス ( 2 )	
	その他の ADSL 接続業者 ( 2 )	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV 回線に接続	-	ローカルルータモード
社内 LAN などの ネットワークに接続	-	ローカルルータモード

- 1 PPPoE 接続の場合、不明な時は FTTH 事業者に確認してください。
- 2 プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ブロードバンドモデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ブロードバンドモデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードは PPPoE モードを選択してください。
- 3 ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線 HUB モードでご利用ください。( P3-19 )



### お知らせ

ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプの ETHERNET ケーブルを自動認識できます。( Auto MDI-X 対応 )

パソコンに ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトや、Windows® XP の PPPoE 機能を使用している場合、ADSL サービスによっては、パソコンを 1 台しかインターネットに接続できません。

複数のパソコンを同時に接続できる ADSL サービスを契約せずに、同時に 2 台以上接続したい場合は、ADSL モデム用の PPPoE 接続専用ソフトウェアや Windows® XP の PPPoE 機能の使用は止めて、本商品の PPPoE モードを使用してお使いください。

# 3

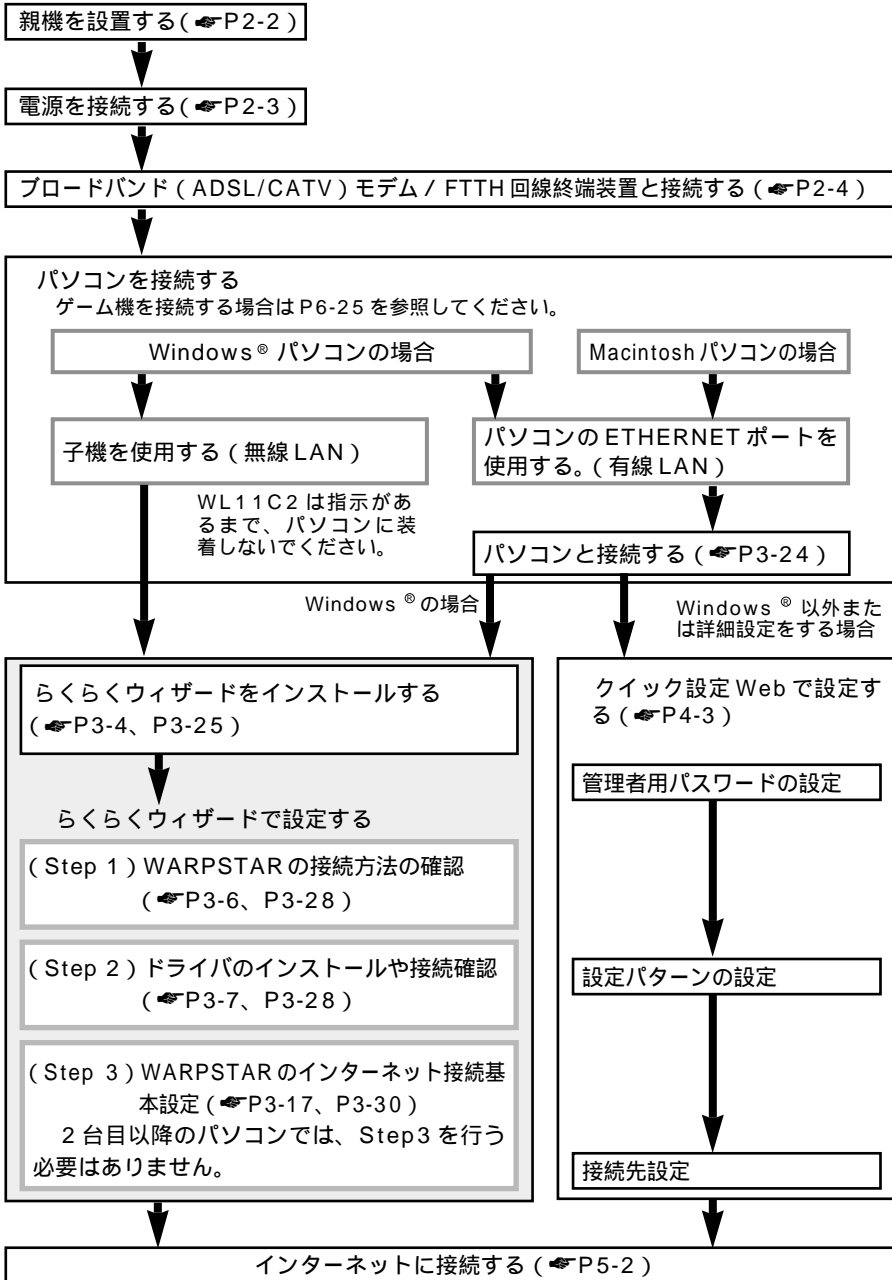
## らくらくウィザードで WARPSTAR を設定する

設定の流れ.....	3-2
3-1 子機 (WL11C2 など) から 無線 LAN 接続する .....	3-3
3-2 有線で接続する .....	3-24
3-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する.....	3-37



## 設定の流れ

3章では、らくらくウィザードを使用して設定する場合を説明しています。  
クイック設定 Web を使用して設定する場合は、4章を参照してください。  
どちらの方法で設定するかは「設定方法について」(☞P 導入-1)を参照してください。



## 3-1 子機(WL11C2など) から無線LAN接続する

### 子機で無線LAN接続する場合

子機(WL11C2)をパソコンに接続するときは、子機のドライバのインストール  
パソコンに子機を挿入する 無線LANの設定の順で設定を行っていきます。これ  
らは、すべてらくらくウィザードで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらく  
らくウィザードをインストールしてください。

子機(WL11C2)を接続できるのはWindows® XP/2000 Professional/Me/  
98SEのみです。Macintoshではご利用になれません。

子機(WL11C2/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL54AG)は、PCカードスロット  
があるパソコンに取り付けることができます。子機(WL11U)はUSBポートがあ  
るパソコンに取り付けることができます。

WL11E/WL11E2を子機としてご利用になる場合、親機への設定は、「3-2 有線  
で接続する」(P3-24)の設定手順で設定を行ってください。WL11E/WL11E2の設  
定については、WL11E/WL11E2の取扱説明書を参照してください。

#### ！ 注意

子機(WL11C2/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL54AG/WL11U)は、らくら  
くウィザードの「インストール時の設定」の「Step2 ドライバのインストールや接続  
確認」で指示があるまで挿入しないでください。

#### お願い

子機はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等  
により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要がある場合があります。  
あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード  
機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。  
LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行っ  
てください。(P3-15、3-16)

らくらくウィザードを起動する前に誤って、子機をパソコンに挿入して、ハードウェアウ  
ィザードが起動した場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

## らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。(既にインストールが完了している場合は、P3-6に進みます。)

- 1 Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE を起動する  
Windows® XP/2000 Professionalの場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。
- 2 添付のCD-ROM (ユーティリティ集) をCD-ROMドライブにセットする  
メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは(☞P3-6)

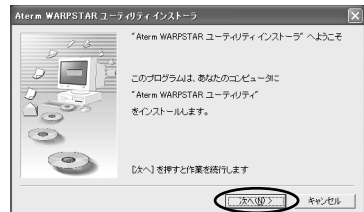
- 3 [WARPSTARのユーティリティのインストール] をクリックする



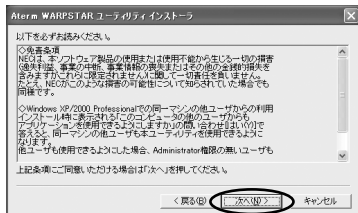
- 4 [次へ] をクリックする



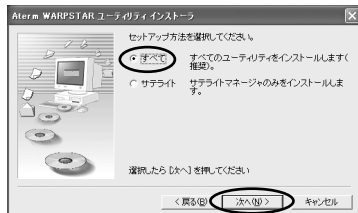
- 5 [次へ] をクリックする



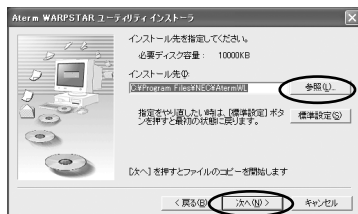
6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



7 [すべて]を選択し[次へ]をクリックする  
[サテライト]を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

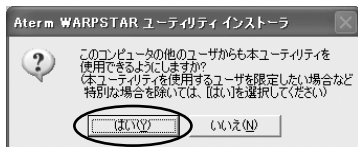


8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする  
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



9 [はい]をクリックする  
インストールが開始されます。

10 [はい]をクリックする



11 [READMEの表示]にチェックが入っている(☑)ことを確認し、[完了]をクリックする



らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。




3  
らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

12 READMEをよく読み、[ README ] 画面を閉じる  
インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROM のメニュー画面の [ 終了 ] をクリックする  
CD-ROM のメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニューを終了すると表示されます。

 「Step1 WARPSTAR の接続方法の確認」(  下記 ) に進みます。

### らくらくウィザードの音声ガイダンスを停止するには

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスを停止したい場合は画面、左下の  をクリックしてください。

### らくらくウィザードを起動するには


らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、[ スタート ] をクリックし、[ プログラム ] — [ Aterm WARPSTAR ユーティリティ ] — [ らくらくウィザード ] をクリックします。

### メニューが表示されないときは

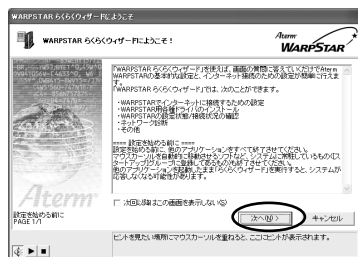
添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の [ スタート ] をクリックし、[ ファイル名を指定して実行 ] を選択する  
名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[ OK ] をクリックする (例 : CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

## Step1 WARPSTAR の接続方法の確認

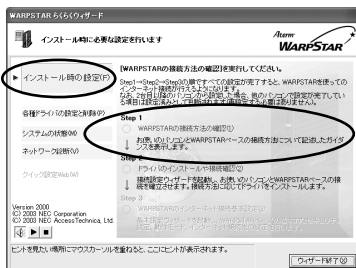
1 らくらくウィザードを起動する (  上記 )

2 [ 次へ ] をクリックする



### 3 [インストール時の設定]の [Step1:WARPSTARの接続方法の確認]をクリックし、接続方法を確認する

本取扱説明書の2章の操作で接続が完了している場合は [Step2 ドライバのインストールや接続確認] に進みます。

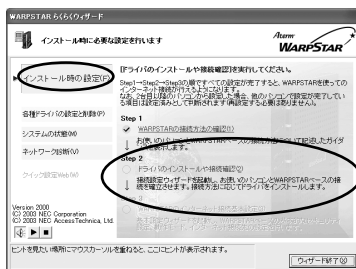


## Step2 ドライバのインストールや接続確認

お願い

子機は、手順5の画面が表示されるまでパソコンのカードスロットに取り付けないでください。

### 1 [インストール時の設定]の [Step2 ドライバのインストールや接続確認] をクリックする



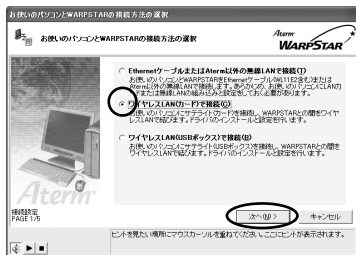
### 2 [ワイヤレスLAN (カード) で接続] を選択し、[次へ] をクリックする



お知らせ

Atermシリーズ以外の無線LANカードを利用した設定はこの手順では行えません。

無線LANカードの組みこみや無線LAN設定を行ったうえで、STEP3のみをらくらくウィザードで行ってください。



3  
らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

3 [WL11C2] を選択して [次へ] をクリックする



4 [実行] をクリックする



5 次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

自動的にドライバのインストールが開始されます。

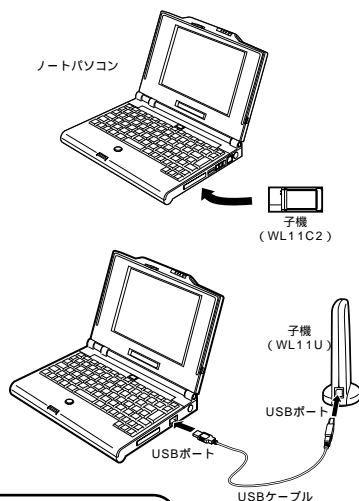
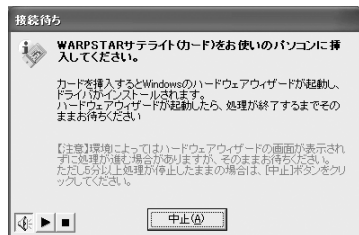
ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

WL11C2/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL54AGの場合

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

WL11Uの場合

WL11UのUSBポートとパソコンのUSBポートをUSBケーブルで接続します。コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかりと差し込んでください。



子機の取りはずしかた (☞P3-12)

ドライバをアンインストールしたいときは (☞P3-14)

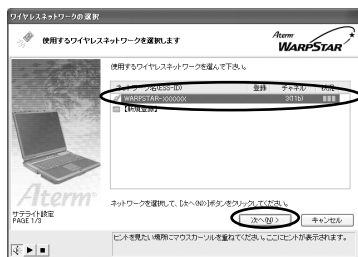
## 6 [実行] をクリックする



## 7 接続する親機のネットワーク名をクリックし、[次へ] をクリックする

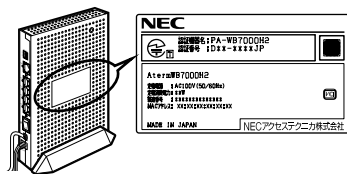
複数の親機がある場合は、ネットワーク名も複数表示されます。

利用できるネットワークに接続する親機が見つからない場合は、[新規登録]を選択して[次へ]をクリックしてください。手順 8 へ進みます。



工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR - XXXXXX」(XXXXXX は親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁です。

親機の無線 LAN 設定で「ESS-ID ステルス機能」が有効になっていると、ネットワークの一覧にネットワーク名が表示されません。このような場合は、[新規登録]を選択し、次の無線設定画面(手順 8)で、ネットワーク名欄に親機のネットワーク名(ESS-ID)を入力してください。



3

らくらくワイザードで  
WARPSTARを設定する

(次ページに続く)



# 8

次の画面で、親機の設定に合わせて無線LANカードの設定を行い、[次へ]をクリックする

## [設定する機器]

[親機の設定も同時に切り替える]：親機がWB7000H2で親機との通信が確立されている場合に、親機も同時に設定を行うときに、選択します。

[無線モード] [チャンネル番号]を含む全ての設定が親機と同時に行えるようになります。

[子機の設定のみ変更する]：子機側だけの設定を行う場合（子機の増設時など）に選択してください。[ネットワーク名] [暗号化キー]は親機の設定に合わせて設定する必要があります。

## [ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順7で使用するネットワーク名を選択した場合はそのままにしておきます。

## [無線動作モード]

802.11bを選択します。

## [チャンネル番号]

親機と通信するチャンネルを選択します。

## [通信モード]

「アクセスポイント通信」を選択します。



## お知らせ

この画面では、親機にWEP等の暗号化が設定されている場合は[親機の設定も同時に切り替える]のボタンがグレースアウトします。

親機に暗号化設定をしていないにもかかわらず[親機の設定も同時に切り替える]のボタンがグレースアウトしている場合は、[戻る]をクリックして手順7からやり直してください。

## [ 暗号化モード ]

親機に暗号化の設定を行う場合

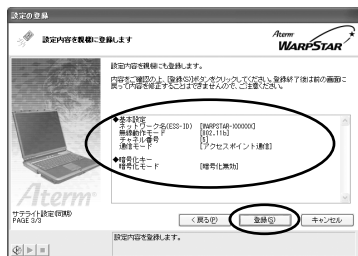
[ 暗号化モード ] で暗号化の方法を選択して、設定したい [ 暗号強度 ] や [ 暗号化キー ] などを入力します。

親機に暗号化の設定を行っている場合

親機に設定している暗号化モードや、暗号化キーなどと同じ内容を入力します。

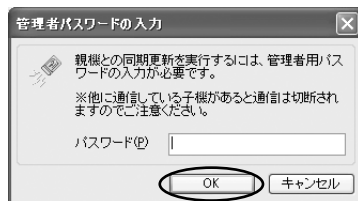
## 9 設定内容を確認し、[ 登録 ] をクリックする

子機の設定のみを行う場合は、この画面は表示されません。手順 11 に進みます。



## 10 次の画面が表示された場合は、親機に設定した管理者用パスワードを入力し、[ OK ] をクリックする

親機に管理者用パスワードを登録していない場合や、子機のみ設定する場合は表示されません。手順 11 へ進みます。



## 11 [ 設定終了 ] をクリックする



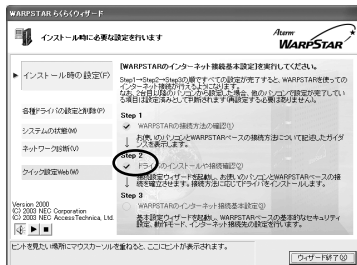
3

らくらくワイザードで  
WARPSTARを設定する

(次ページに続く)

## 12 らくらくウィザード画面に戻り、Step 2 に がつくことを確認する

! が表示されたときは (P3-13)



これで子機のドライバのインストールと無線設定が完了です。「Step 3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定」(P3-17) に進みます。

### お知らせ

以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。(「4 章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」P4-1)

### 子機の取り扱いについて

#### 取り付けるとき

- 子機のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

#### 取りはずすとき

- 子機を取りはずすときは、以下の操作で PC カードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする

[ WARPSTAR WL11C2 の停止 ] をクリックする

( Windows ® XP の場合は [ WARPSTAR WL11C2 を安全に取り外します ] をクリックする )

「 WARPSTAR WL11C2 」は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[ OK ] をクリックする ( Windows ® XP の場合は  をクリックして画面を閉じる )

WL11C2 を取りはずす

### お願い

子機の実取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。

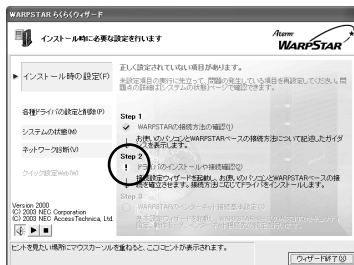
### ! らくらくウィザードで設定を行った場合

Windows ® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows ® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。(P6-15) ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、ESS-ID ステルス機能は、ご利用になれません。

## ② こんなときは

らくらくウィザードのメニュー画面 Step2 に **!** マークが表示された場合は、下記 ~ を確認してしてください。



- [ ネットワーク診断 ] [ LAN 側 ( PC WARPSTAR ベース ) のネットワーク診断 ] をクリックする
- [ IP アドレス情報 ( LAN ) ] の [ アダプタ ] のプルダウンウィンドウの **▼** をクリックし、[ WL11C2 ] を選択する
- [ 解放 ] をクリックする
- [ 再取得 ] をクリックする
- IP アドレスが [ 192.168.0.x x x ] になることを確認する
- [ OK ] をクリックする

**!** マークが消えない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「c.らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース ( 親機 ) との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている」( **☞** P7-4 ) を参照してください。

お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイアウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定や、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

## ! 電波が届かない場合は

親機から電波の届く場所へ子機を移動してください。(電波の状態はサテライトマネージャ ( **☞** P6-13 ) とランプの状態 ( **☞** P1-13 ) で確認できます。)

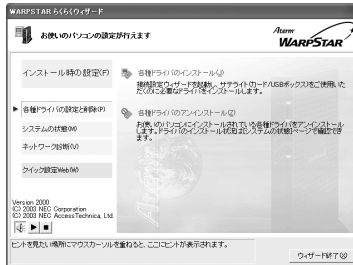
3

らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

## ② 子機のドライバをアンインストールするには

らくらくウィザードを起動する

[ 各種ドライバの設定と削除 ] をクリックし、[ 各種ドライバのアンインストール ] をクリックする



[ はい ] をクリックする

画面の指示が出たら、タスクバーのカードアイコンをクリックして、**"WARPSTAR WL11C2 を安全に取り外します"**をクリックする

取り外し可能なメッセージが表示されたら [ OK ] ( Windows<sup>®</sup> XP の場合は  ) をクリックする

子機 ( WL11C2 ) を取りはずす

[ OK ] をクリックする

アンインストールするドライバを選択し、[ 実行 ] をクリックする



画面の指示に従ってアンインストールを行う

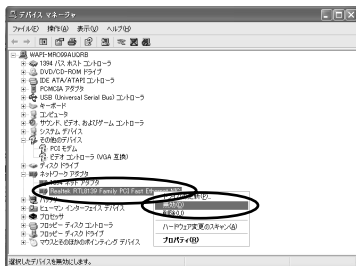
CD-ROM のメニュー画面から [ ドライバのアンインストール ] をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

## ② LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと子機が使用できない場合があります。以下の操作で LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

Windows® XP の場合

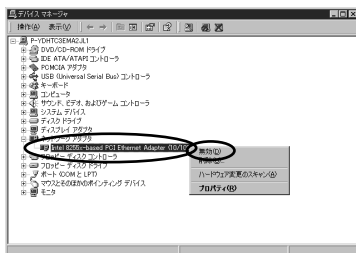
- [ スタート ] [ コントロールパネル ] をクリックする
- [ パフォーマンスとメンテナンス ] をクリックする
- [ システム ] アイコンをダブルクリックする
- [ ハードウェア ] タブをクリックする
- [ デバイスマネージャ ] をクリックする
- [ ネットワークアダプタ ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[ 無効 ] を選択する



- [ はい ] をクリックする

Windows® 2000 Professional の場合

- [ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] をクリックする
- [ システム ] アイコンをダブルクリックする
- [ ハードウェア ] タブをクリックする
- [ デバイスマネージャ ] をクリックする
- [ ネットワークアダプタ ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[ 無効 ] を選択する



- [ はい ] をクリックする

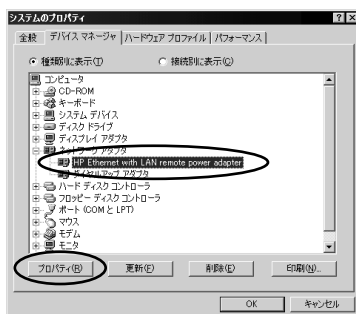
3

らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

## ? LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

Windows® Me/98SE の場合

- [ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] をクリックする
- [ システム ] アイコンをダブルクリックする
- [ デバイスマネージャ ] タブをクリックする
- [ ネットワークアダプタ ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択し、[ プロパティ ] ボタンをクリックする



- [ 全般 ] タブの [ このハードウェアプロファイルで使用不可にする ] をチェックし、[ OK ] をクリックする

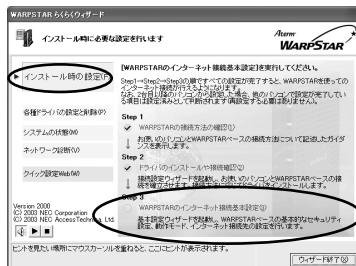
## お知らせ

本商品は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能として暗号化と MAC アドレスフィルタリングおよび ESS-ID ステルス機能を搭載しています。(「6-1 セキュリティ対策をする」 P6-2)

## Step3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定

接続回線を選択し、インターネット接続のための基本設定を行います。

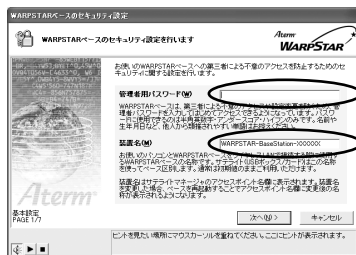
- 1 [インストール時の設定] の [ Step3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定 ] をクリックする



- 2 セキュリティの設定を入力する  
[ 管理者用パスワード ] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力する。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

[ 装置名 ] には、親機の名称を入力する。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。

管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。



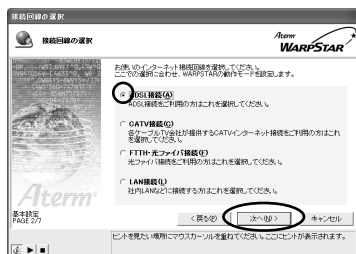
管理者用パスワードメモ欄

--	--

- 3 [ 次へ ] をクリックする

- 4 利用している接続回線を選択し、[ 次へ ] をクリックする

ADSL 接続、FTTH・光ファイバ接続を選択した場合は手順 5 に進みます。CATV 接続、LAN 接続を選択した場合は手順 6 に進みます。



3  
らから  
WARPSTAR  
を設定する  
デザイナー  
で

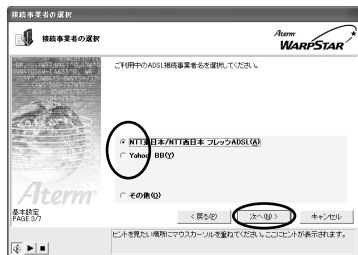


# 5

利用している接続事業者（動作モード）を選択し、[次へ]をクリックする

お使いの接続事業者が画面に表示されていない場合は、[その他]を選択し、[次へ]をクリックします。（☞ 下記）

画面はADSL接続の場合の例です。

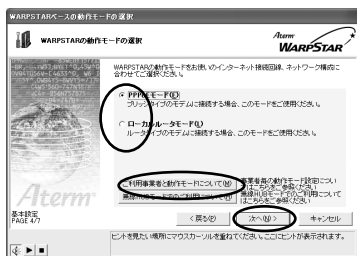


## [その他]を選択し、[次へ]をクリックした場合

ご使用の環境に合わせて動作モードを選択し、[次へ]をクリックする

回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。

[ご利用事業者と動作モードについて]をクリックしても確認できます。



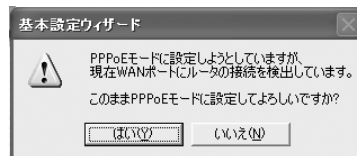
次の画面が表示された場合、本商品のブロードバンド接続ポート側にルータなどのDHCPサーバを検出しています。[OK]をクリックして、ローカルモードに設定してください。



## [NTT東日本 / NTT西日本 フレッツADSL]を選択し、[次へ]をクリックした場合

次の画面が表示された場合は、ADSLモデムの種類を確認してください。

- ブリッジタイプのADSLモデムの場合は、[はい]をクリックします。
- ルータタイプのADSLモデムの場合は、[いいえ]をクリックし、ローカルルータモードに設定してください。





## お知らせ

ルータタイプのブロードバンドモデムご使用時の、無線 HUB モードとローカルルータモードの使い分け

無線 HUB モードとローカルルータモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

	無線 HUB モード	ローカルルータモード
お勧めの環境	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。 無線 LAN のモードやセキュリティを頻繁に切り替えたい場合。
制限事項など		
ルータ機能 (パケットフィルタ、ポートマッピングなど)	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
UPnP 機能	ブロードバンドモデムの UPnP 機能をご利用いただけます。	UPnP 機能は使用できません。
本商品の設定 (クイック設定 Web やサテライトマネージャの親機同時設定など)	設定は行えません。ローカルルータモードに戻して設定してください。	設定を行えます。
ブロードバンドモデムの接続	ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは、本商品の ETHERNET ポート (PC1 ~ PC4) に接続してください。	ブロードバンド接続ポートに接続します。

WAN 側に接続するルータの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品の IP アドレスを変更する必要があります。(☞P7-10)

本商品の動作モードについて

PPPoE モード : フレッツ・ADSL、B フレッツなど PPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード : PPPoE モードを使用しない場合に設定してください。

< 回線種別と動作モード >

回線の種別	接続事業者(例)(敬称略)	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード ( 1 )
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバ(ホームタイプ)	
	有線ブロードネットワークス (IP 接続で接続する事業者の場合)	ローカルルータモード
ADSL 回線に接続	NTT 東日本 / 西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード ただし、ルータタイプの ADSL モデムを利用する 場合は、無線 HUB モード での利用をお勧めし ます。
	イー・アクセス ( 2 )	ローカルルータモードま たは、無線 HUB モード ( 3 )
	アッカ・ネットワークス ( 2 )	
	その他の ADSL 接続業者 ( 2 )	ローカルルータモード
Yahoo! BB		
CATV 回線に接続	-	ローカルルータモード
社内 LAN などの ネットワークに接続	-	ローカルルータモード

- 1 PPPoE 接続の場合、不明な時は FTTH 事業者にご確認ください。
- 2 プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードは PPPoE モードを選択してください。
- 3 ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線 HUB モードでご利用ください。(P3-19)

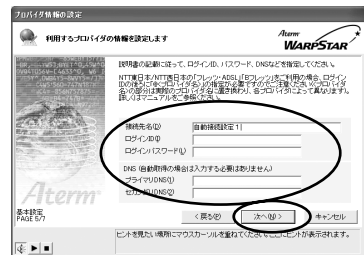
6

表示される画面にあわせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、**[ 次へ ]** をクリックする

PPPoE モードの場合

「利用するプロバイダの情報を入力します」画面が表示されます。

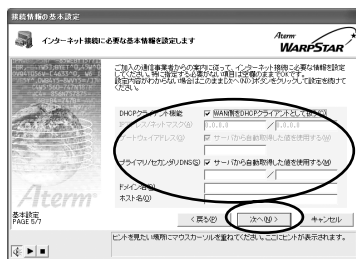
**[ 接続先名 ]** にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。  
好きな名称でかまいません。



接続事業者 / プロバイダからの情報に従って「ログインID」(接続ユーザー名)(例: XXXXX@biglobe.ne.jp など)と「ログインパスワード」を入力する。  
[プライマリDNS] [セカンダリDNS]をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

#### ローカルルータモードの場合

「インターネット接続に必要な基本情報を設定します」画面が表示されます。  
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。



#### DHCP クライアント機能 :

WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は [WAN 側を DHCP クライアントとして扱う] に  します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックをはずしてください。

#### IP アドレス/ネットマスク :

接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

#### ゲートウェイアドレス :

接続事業者から指定されている場合は入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

#### プライマリ/セカンダリ DNS :

サーバから自動で取得する場合は、[サーバから自動取得した値を使用する] に  します。接続事業者から指定されている場合は、そのアドレスを入力します。

#### ドメイン名/ホスト名 :

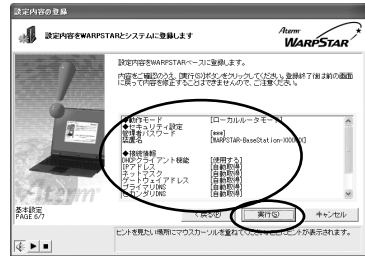
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

## 3

らくらくワイザードで  
WARPSTARを設定する

## 7 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。



画面はローカルルーターモードの例です。

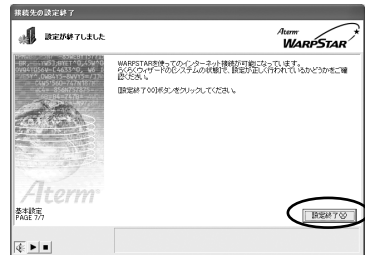
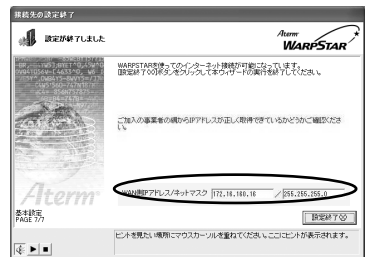
## 8 ローカルルーターモードの場合 次の画面が表示されるので、親機との接続を確認して [OK] をクリックする。

「WAN 側 IP と LAN 側 IP が競合しています。」という画面が表示される場合は、[OK] をクリックしてください。LAN 側（本商品）の IP アドレスが自動的に変更になります。クイック設定 Web を本商品の IP アドレスで起動するときは、変更された IP アドレスで起動してください。

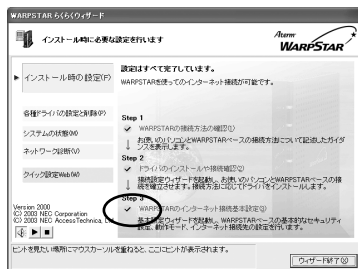
WAN 側 IP アドレスの欄に IP アドレスが表示されていることを確認し、[設定終了] をクリックする。

WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム / 回線終端装置と正しく接続されていません。接続を確認して Step3 をやり直してください。

PPP モードの場合  
[設定終了] をクリックする。



## 9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に マークがつくことを確認する



## 10 [ウィザード終了] をクリックし、らくらくウィザードを終了する

これでインターネットに接続する設定は完了です。「5章 インターネットに接続する」(P5-1)に進みます。

### ? ローカルルーターモードでWAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの[ネットワーク診断]をクリックし、[インターネット接続(PC インターネット)]の診断]をクリックします。

[IPアドレス情報(WAN)]タブでIPアドレスが表示されているか確認してください。[再取得]でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム/回線終端装置がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しているか確認してください。(P1-12、P2-4) それでもIPアドレスがとれない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「h.WAN側IPアドレスが正しく表示されない」(P7-9)を参照してください。

IPアドレスがとれているとき



IPアドレスがとれていないとき



3

らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

### お知らせ

管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(P7-25)

初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやりなおしてください。

## 3-2 有線で接続する

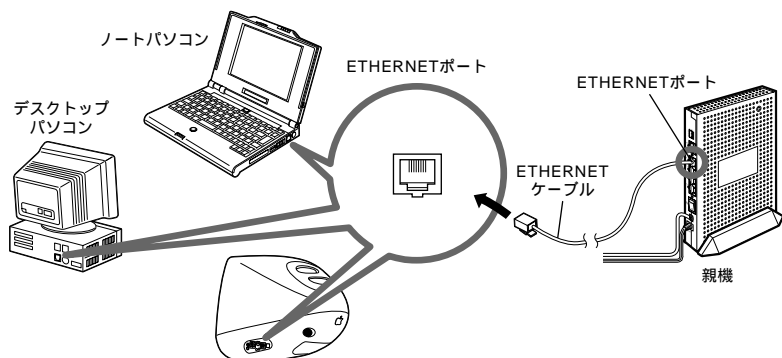
## 親機のETHERNETポートにパソコンを接続する

親機のETHERNETポートにパソコンを接続するときは、パソコンの接続 インターネット接続の設定の順で設定を行っていきます。インターネット接続の設定は、[クイック設定 Web] または [らくらくウィザード] で行います。パソコンを接続したら、設定を行ってください。

## 1 親機のETHERNETポートとパソコンのETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する

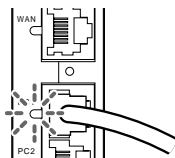
ETHERNETポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



添付ケーブルは1本のみです。ブロードバンドモデム/回線終端装置との接続に使用した場合や2台目以降を接続する場合は、市販のETHERNETケーブルをご購入ください。

## 2 親機とパソコンの電源が入っていることを確認して、ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する



お願い

あらかじめ、お使いのパソコンにLANカード/LANボードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールをしておく必要があります。LANカード/LANボードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

## らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。

### お願い

Windows®以外のOS (Macintosh、Linux など) の場合は、「クイック設定 Web (ブラウザ設定)」から設定してください。(☞P4-3)

**1** Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE を起動する  
Windows® XP/2000 Professional の場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

**2** 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする  
メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは (☞P3-6)

**3** [WARPSTAR ユーティリティのインストール] をクリックする



**4** [次へ] をクリックする

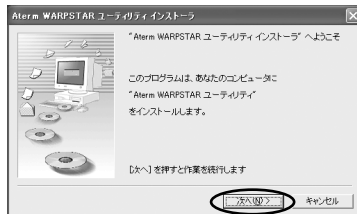


**3**

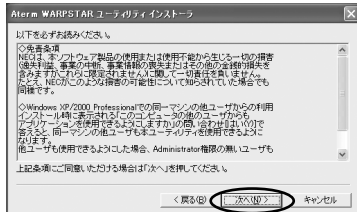
らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する



5 [次へ]をクリックする

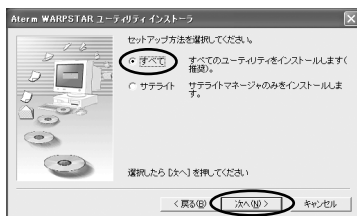


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



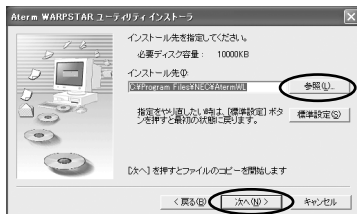
7 [すべて]を選択し[次へ]をクリックする

[サテライト]を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。



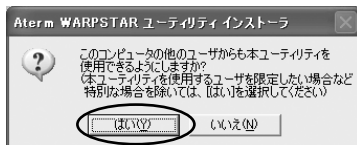
8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



9 [はい]をクリックする  
インストールが開始されます。

10 [はい]をクリックする



- 11 [ README の表示 ] にチェックが入っている (  ) ことを確認し、[ 完了 ] をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。




- 12 README をよく読み、[ README ] 画面を閉じる  
インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

- 13 CD-ROM のメニュー画面の[ 終了 ] をクリックする  
CD-ROM のメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニュー画面を終了すると表示されます。

➡ 「Step1 WARPSTARの接続方法の確認」( P3-28 ) に進みます。

### ❓ らくらくウィザードの音声ガイダンスを停止するには

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスを停止したい場合は画面、左下の  をクリックしてください。

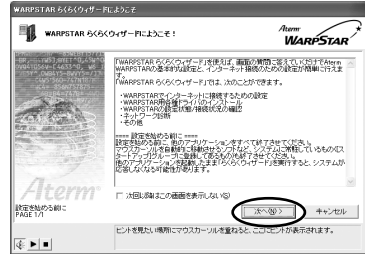
### ❓ らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、[ スタート ] をクリックし、[ プログラム ] — [ Aterm WARPSTAR ユーティリティ ] — [ らくらくウィザード ] をクリックします。

## Step1 WARPSTAR の接続方法の確認

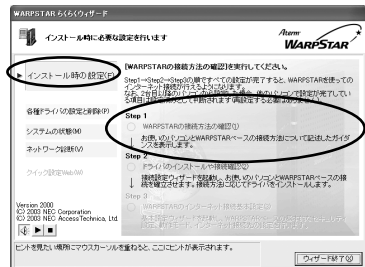
1 らくらくウィザードを起動する (☛P3-27)

2 [次へ] をクリックする



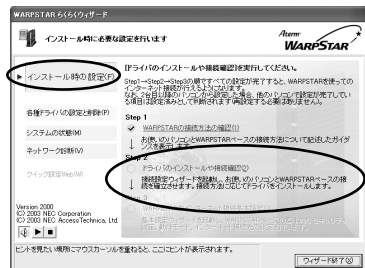
3 [インストール時の設定] の [Step1:WARPSTAR の接続方法の確認] をクリックし、接続方法を確認する

本取扱説明書の2章の操作で接続が完了している場合は [Step2 ドライバのインストールや接続確認] に進みます。



## Step2 ドライバのインストールや接続確認

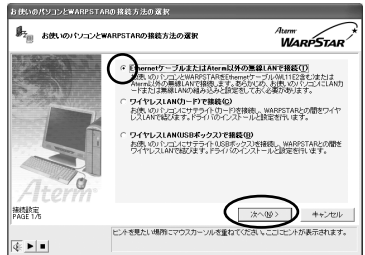
1 [インストール時の設定] の [Step2 ドライバのインストールや接続確認] をクリックする



2 [EthernetケーブルまたはAterm以外の無線LANで接続]を選択し、[次へ]をクリックする

お願い

あらかじめ、お使いのパソコンにLANカードの組み込みをしておく必要があります。LANカードの組み込みとネットワークコンピュータのインストールは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

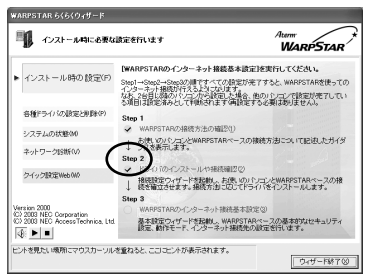


3 [設定終了]をクリックする



4 らくらくウィザード画面に戻り、Step2に☑がつくことを確認する

！が表示されたときは (P3-13)



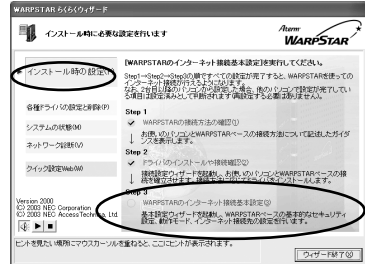
3 らくらくウィザードで WARPSTARを設定する

「Step3 WARPSTARのインターネット接続基本設定」(P3-30)に進みます。

## Step3 WARPSTARのインターネット接続基本設定

接続回線を選択し、インターネット接続のための基本設定を行います。

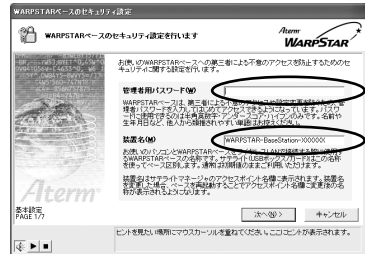
- 1 [インストール時の設定]の[Step3 WARPSTARのインターネット接続基本設定]をクリックする



- 2 セキュリティの設定を入力する  
[管理者用パスワード]に親機の設定を変更するためのパスワードを入力する。  
パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。

[装置名]には、親機の名称を入力する。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。

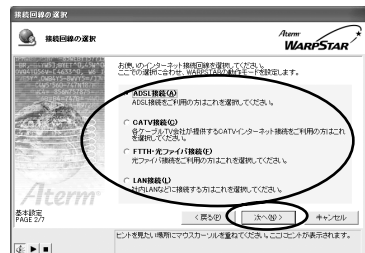
管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。



管理者用パスワードメモ欄	
--------------	--

- 3 [次へ]をクリックする

- 4 利用している接続回線を選択し、[次へ]をクリックする  
ADSL接続、FTTH・光ファイバ接続を選択した場合は手順5に進みます。  
CATV接続、LAN接続を選択した場合は手順7に進みます。

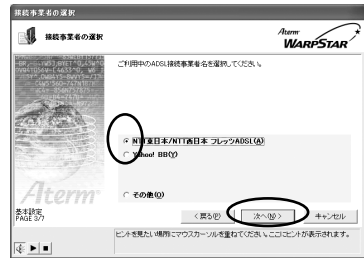


## 5

利用している接続事業者（動作モード）を選択し、[次へ]をクリックする

お使いの接続事業者が画面に表示されていない場合は、[その他]を選択し、[次へ]をクリックします。（☞ 下記）

画面はADSL接続の場合の例です。

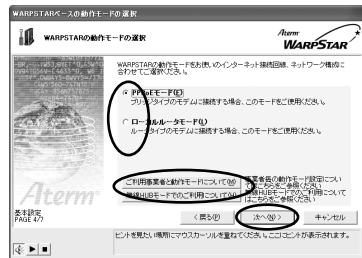


### [その他]を選択し、[次へ]をクリックした場合

ご使用の環境に合わせて動作モードを選択し、[次へ]をクリックする

回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。

[ご利用事業者と動作モードについて]をクリックしても確認できます。



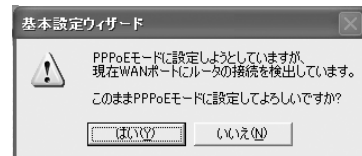
次の画面が表示された場合、本商品のブロードバンド接続ポート側にルータなどのDHCPサーバを検出しています。[OK]をクリックして、ローカルルータモードに設定してください。



### [NTT東日本 / NTT西日本 フレッツADSL]を選択し、[次へ]をクリックした場合

次の画面が表示された場合は、ADSLモデムの種類を確認してください。

- ブリッジタイプのADSLモデムの場合は、[はい]をクリックします。
- ルータタイプのADSLモデムの場合は、[いいえ]をクリックし、ローカルルータモードに設定してください。



## 3

らからウィザードで  
WARPPSTARを設定する



## お知らせ

ルータタイプのブロードバンドモデムご使用時の、無線 HUB モードとローカルルータモードの使い分け

無線 HUB モードとローカルルータモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

	無線 HUB モード	ローカルルータモード
お勧めの環境	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。 無線 LAN のモードやセキュリティを頻繁に切り替えたい場合。
制限事項など		
ルータ機能 (パケットフィルタ、ポートマッピングなど)	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
UPnP 機能	ブロードバンドモデムの UPnP 機能をご利用いただけます。	UPnP 機能は使用できません。
本商品の設定 (クイック設定 Web やサテライトマネージャの親機同時設定など)	設定は行えません。ローカルルータモードに戻して設定してください。	設定を行えます。
ブロードバンドモデムの接続	ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは、本商品の ETHERNET ポート (PC1 ~ PC4) に接続してください。	ブロードバンド接続ポートに接続します。

WAN 側に接続するルータの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品の IP アドレスを変更する必要があります。(☞P7-10)

本商品の動作モードについて

PPPoE モード : フレッツ・ADSL、B フレッツなど PPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード : PPPoE モードを使用しない場合に設定してください。

## &lt; 回線種別と動作モード &gt;

回線の種別	接続事業者(例)(敬称略)	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード ( 1 )
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバ(ホームタイプ)	ローカルルータモード
	有線ブロードネットワークス (IP 接続で接続する事業者の場合)	
ADSL 回線に接続	NTT 東日本 / 西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード ただし、ルータタイプの ADSL モデムを利用する 場合は、無線 HUB モ ードでの利用をお勧めし ます。
	イー・アクセス ( 2 )	ローカルルータモードま たは、無線 HUB モード ( 3 )
	アッカ・ネットワークス ( 2 )	
	その他の ADSL 接続業者 ( 2 )	ローカルルータモード
	Yahoo! BB	
CATV 回線に接続	-	ローカルルータモード
社内 LAN などの ネットワークに接続	-	ローカルルータモード

- 1 PPPoE 接続の場合、不明な時は FTTH 事業者にご確認ください。
- 2 プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードは PPPoE モードを選択してください。
- 3 ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線 HUB モードでご利用ください。( P3-32 )

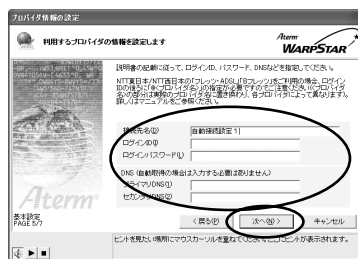
6 表示される画面にあわせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、[次へ]をクリックする

PPPoE モードの場合

「利用するプロバイダの情報を入力します」画面が表示されます。

[接続先名] にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。

好きな名称でかまいません。





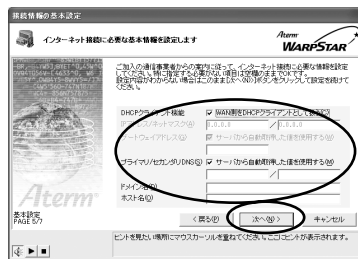
接続事業者 / プロバイダからの情報に従って「ログインID」（接続ユーザー名）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力する。

[プライマリ DNS] [セカンダリ DNS] をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

### ローカルルータモードの場合

「インターネット接続に必要な基本情報を設定します」画面が表示されます。

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。



#### DHCP クライアント機能：

WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は [WAN 側を DHCP クライアントとして扱う] に  します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックをはずしてください。

#### IP アドレス/ネットマスク：

接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

#### ゲートウェイアドレス：

接続事業者から指定されている場合は入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

#### プライマリ / セカンダリ DNS：

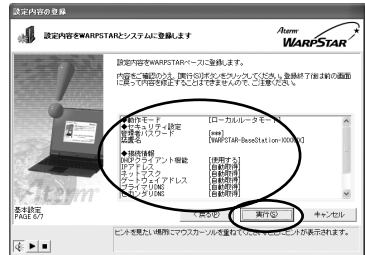
サーバから自動で取得する場合は、[サーバから自動取得した値を使用する] に  します。接続事業者から指定されている場合は、そのアドレスを入力します。

#### ドメイン名 / ホスト名：

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

## 7 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。



画面はローカルルータモードの例です。

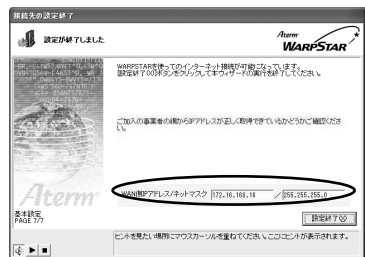
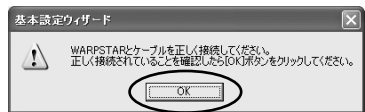
## 8 ローカルルータモードの場合 次の画面が表示されるので、親機との接続を確認して[OK]をクリックする。

「WAN側IPとLAN側IPが競合しています。」という画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。LAN側（本商品）のIPアドレスが自動的に変更になります。クイック設定Webを本商品のIPアドレスで起動するときは、変更されたIPアドレスで起動してください。

WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認し、[設定終了]をクリックする。

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム/回線終端装置と正しく接続されていません。接続を確認してStep3をやり直してください。

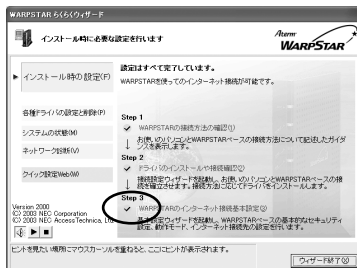
PPPモードの場合  
[設定終了]をクリックする。



## 3

らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3に☑マークがつくことを確認する



10 [ウィザード終了]をクリックし、らくらくウィザードを終了する

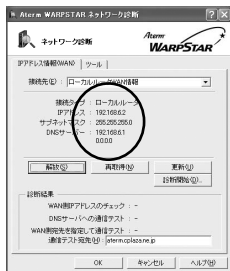
➡ これでインターネットに接続する設定は完了です。「5章 インターネットに接続する」(P5-1)に進みます。

### ? ローカルルータモードでWAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの[ネットワーク診断]をクリックし、[インターネット接続(PC インターネット)]の診断をクリックします。

[IPアドレス情報(WAN)]タブでIPアドレスが表示されているか確認してください。[再取得]でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム/回線終端装置がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しているか確認してください。(P1-12、P2-4) それでもIPアドレスがとれない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「h.WAN側IPアドレスが正しく表示されない」(P7-9)を参照してください。

IPアドレスがとれているとき



IPアドレスがとれていないとき



### お知らせ

管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(P7-25)

初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやりなおしてください。

## 3-3 無線 LAN 内蔵パソコン から接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから WARPSTAR（親機）にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できる NEC 製ワイヤレス機器についてはホームページ AtermStation（「動作検証情報」 - [WARPSTAR] ワイヤレス LAN 相互接続確認情報）にて公開しています。

### お願い

設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。

### 無線 LAN 内蔵パソコンの設定

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと親機との無線通信を確立する設定を行います。ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

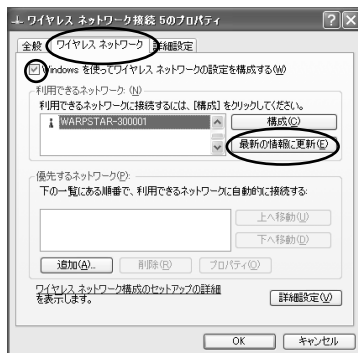
- 1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する
  - ・点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
  - ・ワイヤレススイッチには「ホットキー」タイプと「プッシュ式トグルスイッチ」タイプと「スライド式スイッチ」タイプがあります。それぞれのワイヤレススイッチのオン/オフのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ネットワーク接続] をクリックする  
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする  
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

## 4 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックする

「Windows<sup>®</sup> を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する。

「最新の情報に更新」をクリックし、「利用できるネットワーク」欄から接続する親機「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし、「構成」をクリックする。「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

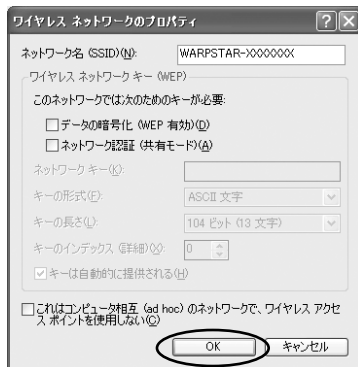


## お知らせ

一覧を更新しても本商品（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、一度本商品（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、本商品（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。ESS-IDステルス機能が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に本商品（親機）のネットワーク名が表示されません。

## 5 ネットワーク名（ESS-ID）と暗号化（WEP）設定を確認して [OK] をクリックする

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されセキュリティの設定ができますが、出荷状態のまま WARPSTAR をご使用の際は、暗号化が設定されていないので、そのまま [OK] をクリックしてください。



**お知らせ**

セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。

セキュリティの設定を行う場合、本商品（親機）で暗号キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に親機と同じ暗号キーを入力してください。本商品（親機）の暗号キーの設定方法、確認方法については、P6-7を参照してください。

キーのインデックス（詳細）では0～3が選択できます。

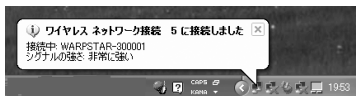
これは、本商品（親機）の[暗号キー/番号]の1番～4番に相当します。

数字が1つずれていますので注意してください。

（Windows® XP SP1の場合は本商品（親機）と同じ1～4が選択できます。）

**6****[OK] ボタンをクリックする**

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

**WARPSTAR の設定**

らくらくウィザードまたは、クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行います。

**らくらくウィザードで設定する**

「3-2 有線で接続する」(☞P3-24)と同じ手順で設定を行ってください。

**！ 注意**

Step2の「お使いのパソコンとWARPSTARの接続方法の選択」画面（手順2）で[ワイヤレスLAN（カード）で接続]を選択しないようご注意ください。

（☞P3-29）

**クイック設定 Web で設定する**

「4章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」(☞P4-1)を参照して設定を行ってください。

**3**

らくらくウィザードで  
WARPSTARを設定する

# 4

## クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う

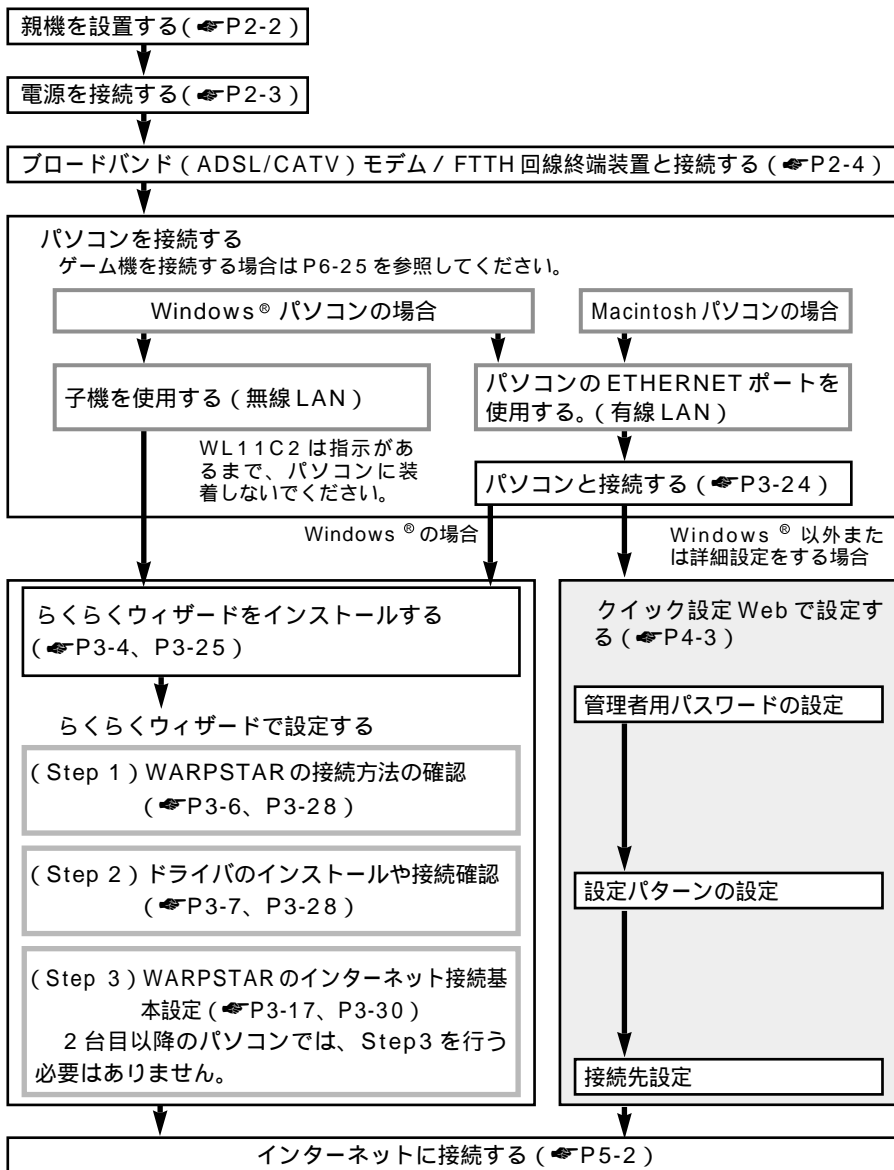
# 4

設定の流れ .....	4-2
4-1 クイック設定 Web で設定を行うには .....	4-3
4-2 インターネット接続のための基本設定 .....	4-4
4-3 PPPoE マルチセッションの設定 .....	4-8

## 設定の流れ

4 章では、クイック設定 Web でインターネットに接続するまでの設定を説明していません。Windows® 以外の OS のパソコンを接続する場合や、ネットワーク対応のゲーム機を接続して設定する場合は、クイック設定 Web で設定します。また、WARPSTAR の各種機能の詳細設定をする場合もクイック設定 Web で設定します。

ワイヤレス子機を接続する場合や Windows® パソコンでインターネット接続のための基本設定をする場合は、3 章を参照してください。





## 4-1 クイック設定Webで設定を行うには

### 親機を接続する

クイック設定Webで設定を行うには、あらかじめ親機とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

親機のETHERNETポートに接続する場合 ←P3-24

ゲーム機を接続する場合 ←P6-25

子機（WL11C2など）から設定を行う場合は、「3-1 子機（WL11C2など）から無線LAN接続する」の「STEP2 ドライバのインストールや接続確認」を行った後、設定を行ってください。

### クイック設定Webを利用するための準備

親機と接続できているかどうかはIPアドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

#### Windows® XP/2000 Professionalの場合

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする

“Ipconfig /renew” を入力して [Enter] キーを押す


IPアドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する

#### Windows® Me/98SE/98の場合

（WL11C2はWindows® Me/98SEのみ）

[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする

“winipcfg” を入力して [OK] をクリックする

Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウの  をクリックして親機と接続しているネットワークアダプタ名を選択する

[すべて解放] をクリックする

[再取得] をクリックする

IPアドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する

[OK] をクリックする

#### Mac OS Xの場合

アップルメニューから [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンを選択する  
IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.X」になっていることを確認する

#### Mac OS 9.x/8.6の場合

アップルメニューから [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択する

IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが「192.168.0.X」になっていることを確認する

## 4-2 インターネット接続のための基本設定

WARPSTAR に接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

回線の種別	接続事業者(例)(敬称略)	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード ( 1 )
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー(ホームタイプ)	
	有線ブロードネットワークス (IP 接続で接続する事業者の場合)	
ADSL 回線に接続	NTT 東日本 / 西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード ただし、ルータタイプの ADSL モデムを利用する 場合は、無線 HUB モ ードでの利用をお勧めし ます。
	イー・アクセス ( 2 )	ローカルルータモードま たは、無線 HUB モード ( 3 )
	アッカ・ネットワークス ( 2 )	
	その他の ADSL 接続業者 ( 2 )	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV 回線に接続	-	ローカルルータモード
社内 LAN などの ネットワークに接続	-	ローカルルータモード

1 PPPoE 接続の場合、不明な時は FITH 事業者にご確認ください。

2 プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードは PPPoE モードを選択してください。

3 ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線 HUB モードでご利用ください。(☞P3-19)

### お願い

クイック設定 Web が起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。(☞P1-17)



### お知らせ

説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品にらくらくウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

NetFront for を使ってクイック設定 Web で設定を行えるのは、「4-2 インターネット接続のための基本設定」のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く  
親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/



お知らせ

以下の手順は既にらくらくウィザードやクイック設定 Web で本商品の設定が完了している場合は表示されません。この場合のクイック設定 Web での設定の方法については添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

3 管理者用パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。

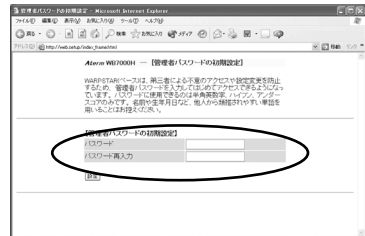
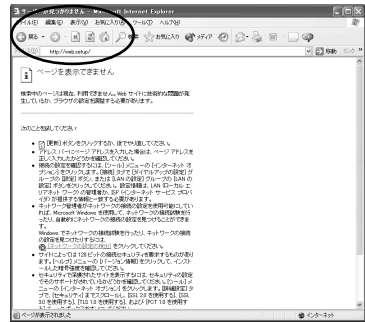
一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄

--	--

4 [設定] をクリックする



4

クイック設定 Web で  
W A R P S T A R の設定を行う

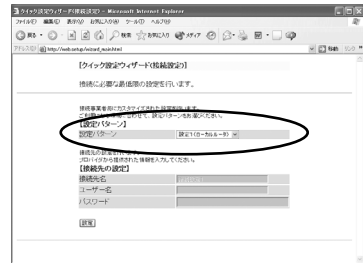
(次ページに続く)

# 5

## 設定パターンを選択する

設定 1 (ローカルルータ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ローカルルータモード</div> ・CATV でご使用の方など、 PPPoE 利用指定の無い場合
設定 2 (PPPoE)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">PPPoE 利用モード</div> ・フレッツご利用の方など、 PPPoE ご利用の場合

P4-4 の表で接続事業者と動作モードを確認してください。



# 6

## [ 接続先の設定 ] をする

手順 5 で「設定 2 (PPPoE)」を選択した場合は、接続事業者 (プロバイダ等) の資料に従って設定してください。

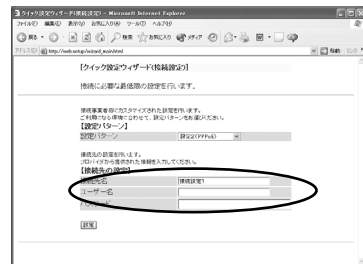
「設定 1 (ローカルルータ)」を選択した場合は「接続先の設定」を行う必要はありません。そのまま手順 7 へお進みください。

[ 接続先名 ] にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。

好きな名称でかまいません。

接続事業者 / プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」(ログインID 接続ユーザー名)

(例: XXXXX@biglobe.ne.jp など) と「パスワード」を入力する。



# 7

## 入力が完了したら、[ 設定 ] をクリックする



これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「5-1 インターネットに接続する」(P5-2)に進みます。

お願い

CATV インターネット接続サービスの中には、固定 IP アドレスを使用する場合や、DNS / ゲートウェイサーバ / ドメイン名 / ホスト名等をプロバイダから指定される場合があります。この場合は、上記の手順だけではインターネット接続できません。P4-7 の手順でクイック設定 Web を起動し、[ 基本設定 ] の [ 接続先設定 ] から設定を変更してください。

## クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

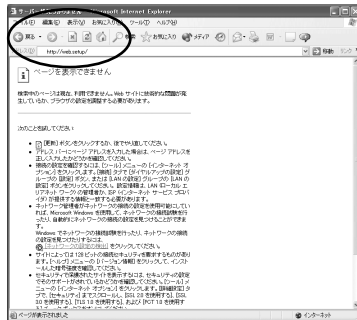
設定方法については、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

パソコンなどを起動する

WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。) 例: http://192.168.0.1/



ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。

らくらくウィザードですでに管理者用パスワードを入力しているときは管理用者パスワードを入力します。

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

パスワード入力画面が表示されないときには (P7-7)



[ OK ] をクリックする

お願い

クイック設定 Web の設定は、[ 登録 ] をクリックして親機を再起動してからでないと有効になりません。次ページのインターネット接続設定が完了してから [ 登録 ] をクリックしましょう。

4

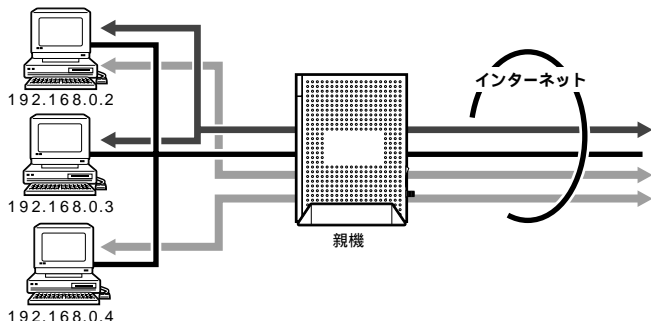
クイック設定 Web で  
WARPCSTAR の設定を行う

4-3 PPPoE マルチセッション  
の設定

PPPoE マルチセッションとは、1つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。

接続先の登録数は最大5箇所、同時接続可能セッション数は最大3箇所です。

本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認の上ご使用ください。



接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1箇所とその他の接続先として4箇所までを設定します。

また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN側からWAN側へのパケット振り分けルールを設定します。

LAN側からWAN側へのパケットのうち、上記の「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。

上記の「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。



## お知らせ

## - 制限事項 -

PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。

UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。

本商品の初期状態では、[ 接続設定 1 ] が UPnP 機能の優先接続先になっています。

## クイック設定 Web で設定する

- 1 「基本設定」のプルダウンメニュー「接続先設定」で、それぞれの接続先を設定する  
ここで複数の接続先を登録しておく、接続先を切り替えて利用できます。(複数接続先切替機能)
- 2 「基本設定」のプルダウンメニュー「接続先の選択設定」で、「接続可」の接続先と「優先接続」する接続先を選択する  
ここで選択した「接続可」の接続先で、PPPoE マルチセッションを行うことができます。
- 3 「詳細設定」のプルダウンメニュー「静的ルーティング設定」で、パケットの振り分けルールを設定する



### 静的ルーティングの設定例

- 1 下記を参考にして各項目を設定する  
[エントリ番号]

編集するエントリ番号を選択します。

[指定方法]

ルーティングエントリの指定方法を選択します。

宛先ドメイン名指定 : 宛先のドメイン名で指定します。

宛先IP アドレス指定 : 宛先のIP アドレスで指定します。

送信元アドレス指定 : 送信元のアドレスで指定します。

[宛先ドメイン名]

ルーティング対象の宛先ドメイン名を指定します。

例: 接続先の URL が、" http://www.aaa.bbb.co.jp " の場合

- ・宛先ドメイン名に「www.aaa.bbb.co.jp」を指定  
「www.aaa.bbb.co.jp」だけを見ることができます。
- ・宛先ドメイン名に「.bbb.co.jp」または「\*.bbb.co.jp」を指定  
「.bbb.co.jp」に該当するところをすべて見ることができます。

(例: ZZZ.bbb.co.jp、XXX.bbb.co.jp、yyy.bbb.co.jp などの URL)

この場合は、「静的ルーティング設定」で設定した接続先で接続されます。ただし、見ることができたホームページのリンク先でドメイン(IP アドレス)が変わった場合、そのドメイン名が設定されていないと、正常なルーティングはできません。

4

クイック設定 Web で  
WARPSTAR の設定を行う

[宛先 IP アドレス]

ルーティング対象の宛先 IP アドレスを指定します。

[ネットマスク]

ネットマスクを指定します。

[送信元アドレス]

ルーティング対象の送信元アドレスを指定します。

IP アドレス、または MAC アドレスが指定可能です。

ただし、MAC アドレスは、DHCP サーバ機能が有効時のみ適用されます。

[インタフェース]

「WAN 側」を選択します。

[ゲートウェイ]

インタフェースが [ LAN 側 ] [ 仮想 DMZ 側 ] のときゲートウェイを指定します。

ここでは指定しません。

[接続先]

接続先を選択します。

2 [編集]をクリックする

3 [最新状態に更新]をクリックする

4 [静的ルーティングエントリ]欄で設定したエントリ番号に  する

5 [静的ルーティングエントリ]欄で [適用] をクリックする

6 [登録]をクリックする



## お知らせ

「静的ルーティングエントリ」は、下記に示すような順番で優先されます。

指定方法が「送信元アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

指定方法が「宛先ドメイン名指定」または「宛先 IP アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順



# 5

## インターネットに接続する

- 5-1 インターネットに接続する .....5-2
- 5-2 インターネットを切断する .....5-3

## 5-1 インターネットに接続する

らくらくウィザードまたは、クイック設定 Web で接続設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

## 1 WWWブラウザを起動する

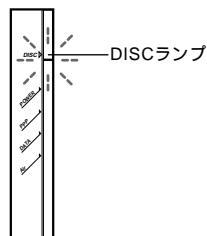
## 2 外部のホームページを開く

例) ホームページ AtermStation : <http://121ware.com/aterm/>

## 3 前面の DISC ランプが緑点灯していることで接続を確認する

クイック設定 Web で [現在の状態] をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することもできます。

インターネットに接続できないときは  
(「7-1 トラブルシューティング」  
➡P7-2)



## お知らせ

回線を強制的に切断する場合は、「5-2 インターネットを切断する」の「DISC スイッチで回線を切断する」を参照してください。(➡P5-3)


## 5-2 インターネットを切断する

### 無通信監視タイマ

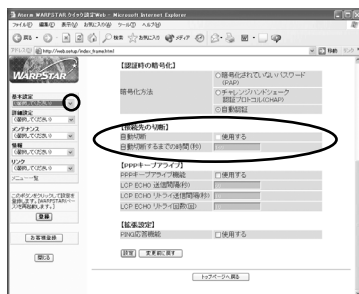
インターネットへのアクセスが一定時間ないときに通信を切断し、セキュリティを守ります。切断忘れを防止できます。

ホームページを見たり、メールをやりとりする場合には、何らかのデータがやりとりされます。データのやりとりのない状態が一定時間以上続いた場合に、通信を自動的に切断します。ただし、「複数固定IPサービス」使用時には、設定できません。

#### クイック設定 Web で設定する

- 「基本設定」の  をクリックし、「接続先設定」の「接続先の切断」で設定する

監視時間（60～86,400秒（24時間））を1秒きざみで設定します。その時間内にデータのやりとりがなければ、通信を切断します。



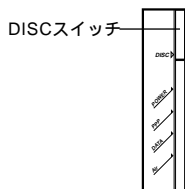
### DISC スイッチで回線を切断する

親機前面の DISC スイッチを使ってインターネット接続を切断し、ブロードバンド網などの WAN 側との接続を不可にすることができます。

すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。

#### 回線を切断する

- インターネット接続中に、5 秒以上前面の DISC スイッチを押し続ける  
インターネット接続中は DISC ランプが緑点灯しています。



- インターネットが切断される（2 回ピピッと鳴ります。）  
DISC ランプが赤点灯します。



---

## 通常状態に戻すには

**1** DISC ランプが赤点灯している状態で、DISC スイッチを 1 秒間押す（ピッと鳴ります。）

DISC ランプが消灯し、通常状態に戻ります。（接続モードが「常時接続」の場合は、緑点灯します。「要求時接続」の場合は消灯になり、インターネットに接続すると緑点灯になります。）



お知らせ

DISC ランプが赤点灯しているときはインターネットに接続できません。再接続する場合は、DISC スイッチをもう 1 度押して通常状態に戻してください。



# 応用編

本商品をさらに使いこなそう

6章 WARPSTARを活用しよう .....6-1

応用編

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 Second Editionは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

# 6


## WARPSTAR を活用しよう

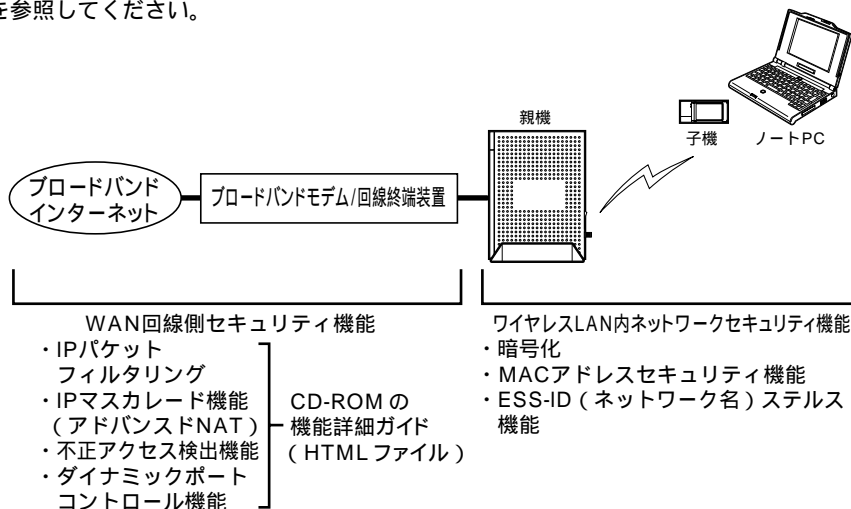
- 6-1 セキュリティ対策をする ..... 6-2
- 6-2 子機の通信の設定をする ..... 6-9
- 6-3 ネットワーク対応アプリケーション  
（ネットワークゲームなど）を利用する ... 6-20
- 6-4 ゲーム機を接続する ..... 6-25
- 6-5 HUBとして使う  
（ルータ機能を停止する）..... 6-26
- 6-6 TV電話をする（Windows Messenger  
を利用する） ..... 6-29
- 6-7 親機をバージョンアップする ..... 6-30
- 6-8 2台目以降のパソコンを接続する ..... 6-33

## 6-1 セキュリティ対策をする

### セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（FTTH/ADSL/CATV 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「ワイヤレス LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

WAN 回線側のセキュリティ対策については、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)を参照してください。



### ? セキュリティ対策を行うことの重要性について

インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることもあります。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。

本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。

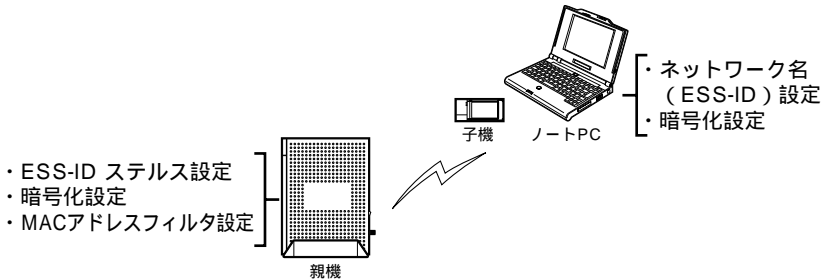
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策もあわせて行っていただくことをお勧めします。

ワイヤレス子機による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。

無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

## 他の無線 LAN パソコンから親機に接続できないようにする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから親機や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-ID ステルス機能、無線データ暗号化機能、MAC アドレスセキュリティ機能を搭載しています。子機が複数台ある場合は、それぞれの子機についてセキュリティの設定を行う必要があります。



## ESS-ID ステルス機能を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (ESS-ID とも呼びます) があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に 응답しないようにすることができます。

本商品独自の機能です。子機側では、サテライトマネージャをお使いください。

### 1 パソコンを起動する

### 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開きません。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/

### 3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

### 4 [詳細設定] の をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

6

W  
A  
R  
P  
S  
T  
A  
R  
を  
活  
用  
し  
よ  
う

(次ページに続く)



5 「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」にする



6 「ESS-ID ステルス機能を有効とするまでの時間（分）」に親機起動から拒否開始までの時間を分単位で入力する。常に拒否したい場合は“0”にしてください。

7 「設定」をクリックする



8 「登録」をクリックする  
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

## MAC アドレスセキュリティ機能

MACアドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない子機からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

< クイック設定 Web で設定する >

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く


親機の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の  をクリックし、[MAC アドレスフィルタ設定] を選択する

5 [接続を許可する MAC アドレス編集] 欄で設定する

エントリ番号を選択する

指定方法を選択する

手動設定 : MAC アドレスに直接無線接続を許可する子機の MAC アドレスを入力します。

選択設定 : MAC アドレス (アクセス履歴) から選択し登録をします。

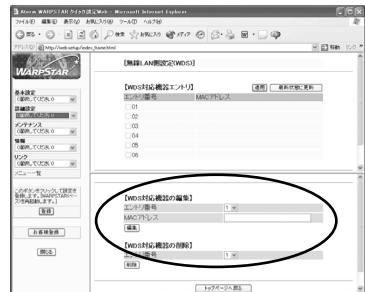
手動設定の場合は、登録する子機の MAC アドレスを入力する

MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MAC アドレスが xx-xx-xx-xx-xx-xx の場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xx と入力します。

子機の MAC アドレスは子機の裏に記載されています。

選択設定の場合は、「アクセス履歴」から登録する子機の MAC アドレスを選択します。



(次ページに続く)

6

W  
A  
R  
P  
S  
T  
A  
R  
を  
活  
用  
し  
よ  
う

6

[編集] をクリックする

続けて設定する場合は、手順5にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

7


[最新状態に更新] をクリックする

設定内容にまちがいがなければ確認してください。

8

[設定] をクリックする

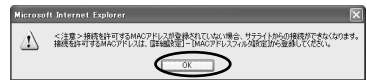
9

[詳細設定] の  をクリックし、  
[無線LAN側設定] で、[MACアドレスフィルタ機能] を [使用する] に  する



10

[OK] をクリックする



11

[設定] をクリックする

12

[登録] をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

## 無線暗号化を設定する

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を親機と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、親機と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

### お願い

暗号化の設定は必ず親機と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。（☛P6-11、P6-17）

暗号化キーは無線アクセスポイント 1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の子機を使用する場合、全ての子機に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。

らくらくウィザードで暗号化の設定を行った場合、暗号化キーは 1 番に設定されています。1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。

### < 暗号化の設定（親機） >

親機の暗号化の設定は、クイック設定 Web で行います。

子機からサテライトマネージャを使用して親機の設定を同時に変更することができます。（☛P6-12）

#### 1 パソコンを起動する

#### 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開きます。  
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

例：http://192.168.0.1/

#### 3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[ OK ] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

#### 4 [ 詳細設定 ] の をクリックし、[ 無線 LAN 側設定 ] を選択する

## 6

W  
A  
R  
P  
S  
T  
A  
R  
を  
活  
用  
し  
よ  
う

（次ページに続く）

5

- [暗号化]の項目で設定する  
送受信データの暗号化をする  
暗号強度を [64bit]、[128bit] から  
選択する  
[64bit](弱) < [128bit](強)の順  
で強い暗号がかかります。  
[指定方法]から暗号化キーの種類を [英  
数字]または [16進数]のどちらかを  
選択する

[英数字] 英数字 (0 ~ 9、a ~ z、  
A ~ Z) の組み合わせで暗号を作成し  
ます。

[16進数] 16進数 (0 ~ 9、a  
~ f、A ~ F) の組み合わせで暗号を  
作成します。

指定した暗号強度によりそれぞれの入  
力桁数は異なります。

- [使用する暗号化キー番号]を [暗号化キ  
ー1番 ~ 4番]で選択する

指定した番号 (1番 ~ 4番) に  
で指定  
した方法で任意の暗号を入力する



6

- [設定]をクリックする

7

- [登録]をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。(暗号化キーを設定していな  
い子機から接続できなくなります。子機の暗号化の設定を行ってください。)

## 6-2 子機の通信の設定をする

子機の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANのデータ保護(暗号化)の設定はサテライトマネージャで行います。

### サテライトマネージャの使い方

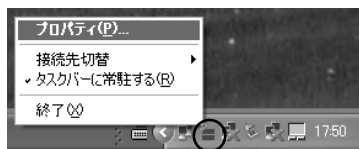
#### サテライトマネージャをインストールする

サテライトマネージャは、「らくらくウィザードをインストールする」を参照してインストールしてください。(P3-4)

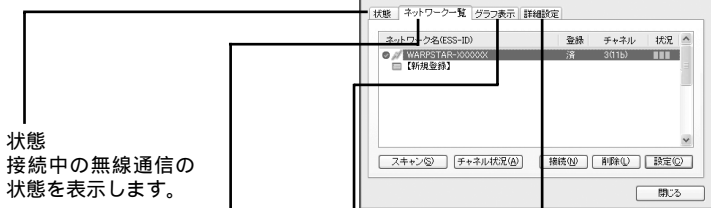
#### サテライトマネージャを起動する

1 [スタート]ー[プログラム]ー[AtermWARPSTARユーティリティ]ー[サテライトマネージャ]をクリックする

2 タスクトレイの[サテライトマネージャ]のアイコンを右クリックする



3 [プロパティ]を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される



状態  
接続中の無線通信の  
状態を表示します。

ネットワーク一覧  
利用できる親機(アクセスポイント)の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

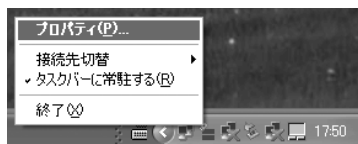
グラフ表示  
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度(信号強度)をグラフで表示します。

詳細設定  
無線機能のON/OFF設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows®XPのワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。

## サテライトマネージャで設定する

- 1 サテライトマネージャを起動する  
[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする  
通知領域 (タスクトレイ) に [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

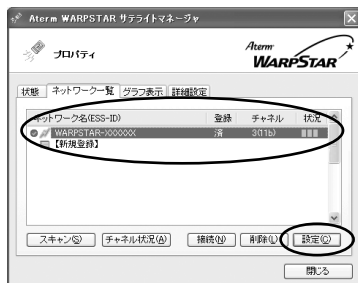


- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

- 4 接続先のネットワーク名をクリックして、[設定] をクリックする

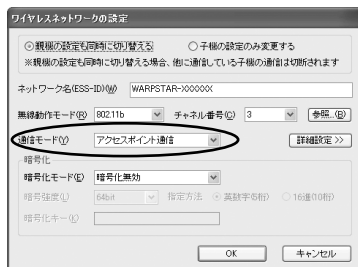
親機の出荷時設定は  
WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX は装置側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁です)

新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。



- 5 [通信モード] で [アクセスポイント通信] を選択する

[親機の設定も同時に切り替える] を選択すると、設定した値が親機にも登録できます。



## 6 暗号化の設定をする

通信相手の機器（親機、パソコン間通信の場合は、子機）と設定値を同じにしてください。

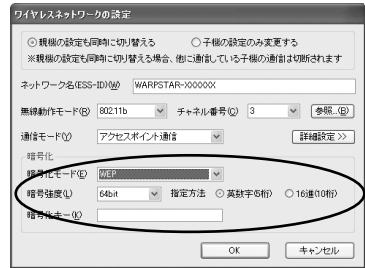
[暗号化モード]で暗号化の方法を選択する。

暗号化強度を「64bit」「128bit」から選択し、指定方法を選択する。

暗号化キーを入力する。

英数字は0～9、a～z、A～Zで構成されている文字列を指定できます。16進は0～9、a～f、A～Fで構成されている文字列を指定できます。

暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。



## 7 [OK]をクリックする

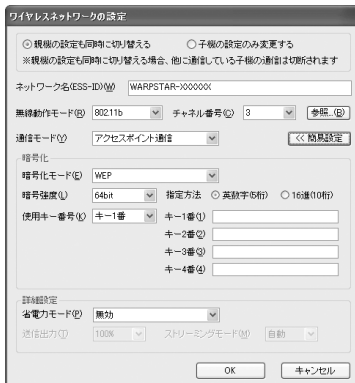
### お願い

同じネットワーク名（ESS-ID）を設定した複数の親機（アクセスポイント）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの[ネットワーク一覧]のチャンネル表示が[状態]の表示と異なる場合があります。[状態]表示の値を参照してください。

2台目以降の子機を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。

### お知らせ

手順6の画面で[詳細設定 >>]をクリックすると、次の設定が行えます。



#### ・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。



## ① サテライトマネージャの使い方

通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。詳細は添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

[プロパティ] :

通信モードの設定、暗号化、子機の子機保護設定をすることができます。

[状態] タブで親機との通信状態を詳細に確認することができます。

無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

[接続先切替] :

サテライトマネージャで設定した接続先(親機)を切り替えて使用できます。

[タスクバーに常駐する] :

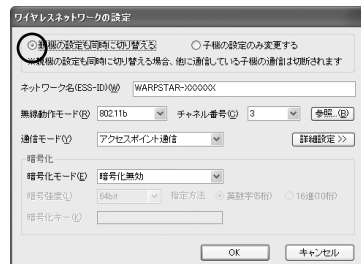
[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[終了] :

サテライトマネージャを終了します。

サテライトマネージャから親機と子機の無線設定を同時に行う  
親機が WB7000H2 のときは、サテライトマネージャで親機と子機の無線設定を同時に変更できます。

- 1 サテライトマネージャを起動する
- 2 通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する
- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする
- 4 [ネットワーク名] 欄で接続する親機を選択する
- 5 [親機の設定も同時に切り替える] を選択する

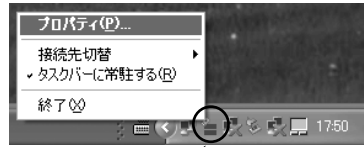



- 6 [OK] をクリックする


## 親機との接続状態を確認する


サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）の [ サテライトマネージャ ] アイコンを右クリックし、[ プロパティ ] を選択する




 子機が正しく接続されていません。


 親機がみつかりません。

 親機が正しく検出できています。

親機との電波の状態は次のとおりです。

 青 3 本  
強い

 黄 2 本  
弱い

 青 2 本  
普通

 赤 1 本  
限界

- 2 [ 状態 ] タブをクリックする  
親機と子機の通信状態が表示されます。



6

WARPSTARを  
活用しよう

(次ページに続く)

### 3 通信状態を確認し、[ 閉じる ] をクリックする

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。



## サテライトマネージャで確認できる接続状態について

### 【グラフ表示】

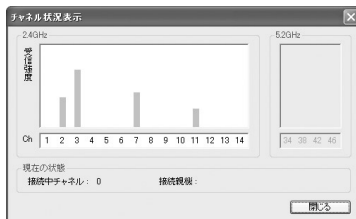
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



### 【ネットワーク一覧】 - 【チャンネル状況】

近くのアクセスポイント（親機など）が、どのチャンネルで使われているかを表示します。同じ無線チャンネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャンネルをチェックして切り替えることができます。

現在、接続中のチャンネルは赤で表示されます。



## ワイヤレスネットワークの設定 (Windows® XP の場合)

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されているワイヤレスネットワークの設定で設定できます。

ただし、親機で ESS-ID ステルス機能を使用する場合は、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定はご利用になれません。

通常は Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

### ❗ らくらくウィザードで設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

サテライトマネージャを起動する

通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、

[プロパティ] をクリックする

「詳細設定」タブをクリックする

「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックをはずす



「閉じる」をクリックする

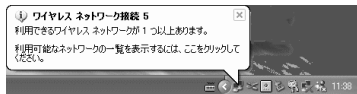
暗号化設定されていない親機に接続する場合 (☛P6-16)

暗号化設定されている親機に接続する場合 (☛P6-17)

## 親機に接続する（親機が暗号化設定されていないとき）

1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバブルが表示される

表示されないときは（☞P7-5）



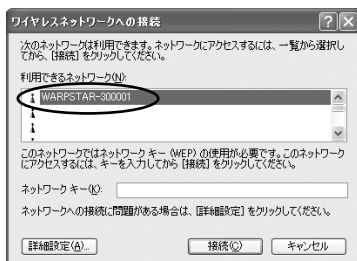
2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

3 「利用できるネットワーク」を選択する

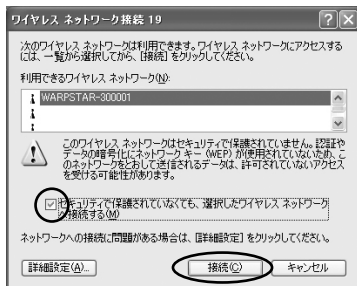
- 工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

- [利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。

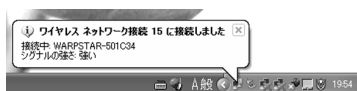
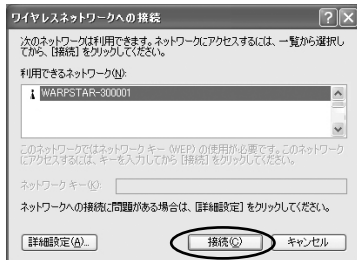
次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていないネットワークへ接続する」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。



4 [接続] をクリックする



5 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

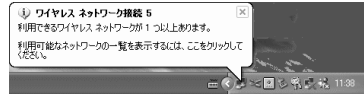


## 暗号化を設定して親機に接続する(親機が暗号化設定されているとき)

暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

表示されないときは(☞P7-5)



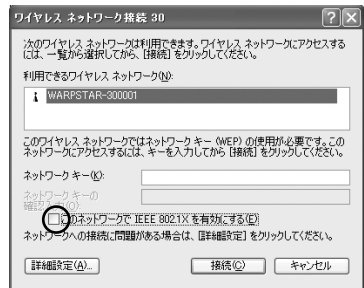
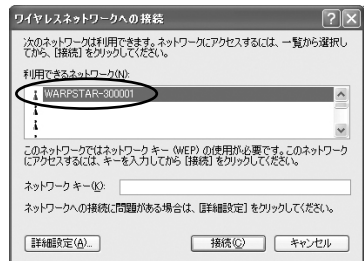
- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

- 3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」(xxxxxx は、親機の側面に記載されている WAN/PC (MAC アドレス) の下 6 桁) です。
- ・[利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。



[このネットワークで IEEE 802.1x を有効にする] の  は必ず外してください。



<Windows® XP Service Pack 1 のとき>

- 4 親機の暗号化キー番号が 1 番の場合、[ネットワークキー] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする

キー番号に 2 番 ~ 4 番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は手順 5 に進みます。

6

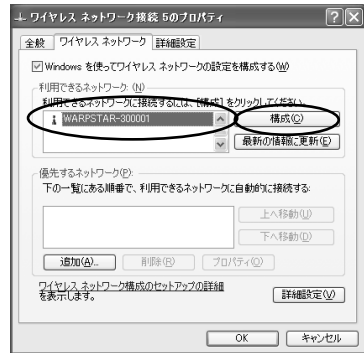
W  
A  
R  
P  
S  
T  
A  
R  
を  
活  
用  
し  
よ  
う

(次ページに続く)

5  
6

[ 詳細設定 ] をクリックする

接続する親機のネットワーク名をクリックし、[ 構成 ] をクリックする  
すでに接続する親機のネットワーク名が [ 優先するネットワーク ] に表示されている場合は、[ 優先するネットワーク ] 欄からネットワーク名を選択し、[ プロパティ ] をクリックします。



7

~ の設定を行う

[ データの暗号化 ] にチェックする  
[ キーは、自動的に提供される ] のチェックをはずす

[ ネットワークキー ] は、親機に入力した暗号化キーを入力してください。

キーの形式：

親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

親機で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

親機で「暗号強度」を標準 (64bit) と設定した場合は、40bit を選択してください。

親機で「暗号強度」を拡張 (128bit) と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：

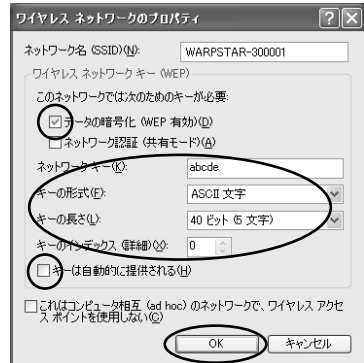
特に使いません。

0 ~ 3 がありますが、0 のままご使用ください。

( 1 ~ 3 に別の暗号化キーを登録しておき、[ キーのインデックス ] を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。)

親機側は、クイック設定 Web の [ 無線 LAN 側設定 ] - [ 暗号化 ( WEP ) ] で使用する暗号化キーを確認してください。

[ OK ] をクリックする



<Windows® XP Service Pack 1> の場合は画面が異なります。次ページを参照してください。

## ❗ 暗号化設定 < Windows® XP Service Pack 1 の場合 >

Windows® XP Service Pack 1 をインストールした場合、手順 7 の画面が異なります。

以下の手順で設定を行ってください。

[データの暗号化]にチェックする  
 (表示される画面によっては [WEP] [無効になっています] から [WEP] を選択する)  
 [キーは、自動的に提供される]のチェックをはずす

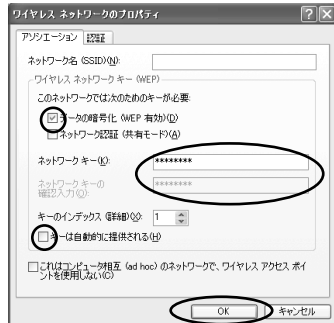
[ネットワークキー]を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力]に再入力する  
 ASCII文字 / 16 進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ・ ASCII文字の場合：英数字 5 文字、または 13 文字で指定 (13 文字は親機に 128bit WEP を設定している場合のみ)

- ・ 16 進数の場合：0 ~ 9 ・ a ~ f ・ A ~ F で 10 文字、または 26 文字で指定 (26 文字は親機に 128bit WEP を設定している場合のみ)

WARPSTAR ベースの設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のままご利用ください。

[OK]をクリックする



画面は例です

## 親機との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・ [状態] は「接続」になっていること
- ・ [速度] が「1 ~ 11Mbps」になっていること





## 6-3 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど)を利用する

ネットワーク対応アプリケーション(ネットワークゲームなど)を利用する場合、ネットワークゲームによっては設定が必要な場合があります。あらかじめゲームのWebサイトなどでご確認ください。設定方法には次の方法があります。

- 1.アドバンスドNAT(ポートマッピング)を使う
- 2.PPPoEブリッジを使う
- 3.シングルユーザアクセスモードを使う

### アドバンスドNAT(ポートマッピング)を設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。該当ゲームは該当のパソコン1台でのみ利用できます。

- 1 パソコンを起動する
- 2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く  
親機のIPアドレスを入力しても開きません。  
(工場出荷時は192.168.0.1です。)
- 3 ユーザー名に[admin]と入力し、管理者パスワードを入力する  
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [詳細設定]の▼をクリックし、[ポートマッピング設定]をクリックする
- 5 [編集する接続先]の▼をクリックし、編集する接続先を選択する

6

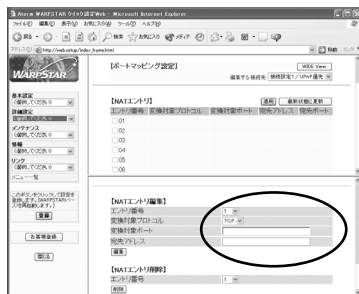
[ NAT エントリ編集 ] 欄で設定する  
[ エントリ番号 ] で空いている番号を選択する

最大 50 個設定できます。

[ 変換対象プロトコル ] で「TCP /  
UDP/ESP/AH」から選択する

[ 変換対象ポート ] でポート番号を指定  
する

[ 宛先アドレス ] に上で設定したポート  
に対して固定的に割りあてるクライアント  
パソコンの IP アドレスを入力する  
親機の DHCP サーバ機能を使い、クラ  
イアントパソコンに IP アドレスを自動  
割り当てしている場合は  
「connectuser」または MAC アドレス  
を指定します。



7

[ 編集 ] をクリックする

8

[ 最新状態に更新 ] をクリックする

9

[ NAT エントリ ] 欄で設定したエントリ番号を  にする

10

[ NAT エントリ ] 欄で [ 適用 ] をクリックする

11

[ 登録 ] をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

6

WARPSTARを  
活用しよう

お願い

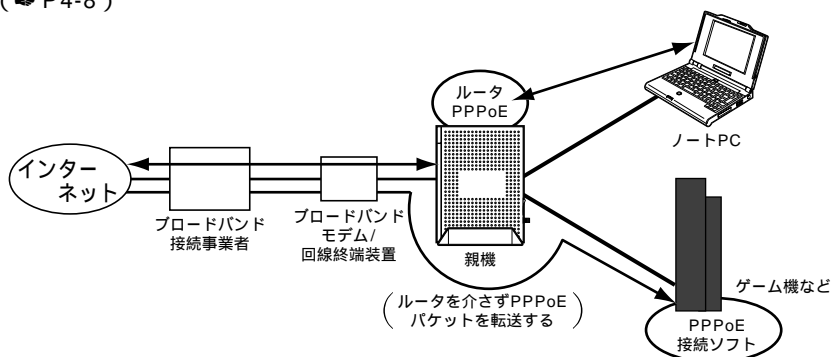
ポート、プロトコルについてはアプリケーションの提供元に確認してください。

## PPPoEブリッジ機能

パソコンやゲーム機などでPPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバルIPアドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoEブリッジ機能を使用して、接続できます。

親機がPPPoEモードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大8台までです。PPPoEブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

PPPoEプロトコルの利用やグローバルIPアドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoEマルチセッションでご利用いただけます。  
(☛P4-8)



## PPPoEブリッジ機能でできること

- (1) Windows® XPでサポートされている次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

利用確認アプリケーション  
リモートデスクトップ  
リモートアシスタンス

- (2) PPPoE対応のゲーム機(PlayStation®2など)を接続できます。
- (3) PPPoEブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、親機のルータ機能やNAT機能を介さずに、直接親機に接続しているブロードバンドモデム/回線終端装置とPPPoEの処理を行うため、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができます。

### お願い

アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。  
「PPPoEブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフト等をお使いになることをお勧めします。

## シングルユーザアクセスモード

シングルユーザアクセスモードとは、一時的に全ポートを独占利用することで、チャットやゲームなどのネットワークアプリケーションを利用する際簡単に利用を可能とするモードです。シングルユーザアクセスモードに設定することで、具体的なTCP / UDPポートの設定をすることなく、また、他の人からの相乗りを禁止（排他利用）したい時などでも利用することができます。

自動接続において、「常時接続」設定では、「シングルユーザアクセス」を利用することができません。かならず、「要求時接続」に変更してください。なお、「要求時接続」では、「通常動作」「シングルユーザアクセス」ともに利用が可能です。

「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になり、セキュリティが低下します。

シングルユーザアクセスモードは、各メーカーから提供されているTCP / UDPポートの設定情報で動作しないゲームやアプリケーションがある場合のみ使用し、利用時以外は切断することをお勧めします。

### ❗ PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードの違いと使い分け

PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードには次のような違いがあります。特定のポート番号を固定できないアプリケーションを使う場合や、外部からの接続が必要なアプリケーションを使う場合は、お使いの環境に合わせて、PPPoEブリッジ機能または、シングルユーザアクセスモードをお使いください。

PPPoEモードでお使いの場合は、PPPoEブリッジをお勧めします。ローカルルータでお使いの場合は、シングルユーザアクセスモードをお勧めします。

	PPPoEブリッジ機能	シングルユーザアクセスモード
利用条件	PPPoEモードの場合のみ	PPPoEモード/ローカルルータモード
IPアドレス	グローバルIPアドレスを取得可	ローカルIPアドレスのみ
自分以外の利用	利用可( )	利用不可
専用ソフト	必要	不要

ご契約の接続事業者によって異なります。

## 設定方法

### <クイック設定 Web >

- 1 パソコンを起動する
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く  
親機の IP アドレスを入力しても開きます。  
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
- 3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力する  
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 インターネット接続先を設定する  
「3章 らくらくウィザードで WARPSTAR の設定を行う」または、「4章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」を参照してください。
- 5 [基本設定] の ▼ をクリックし [基本設定] を選択し、[自動接続] 欄の接続モードは「要求時接続」を選択する
- 6 [設定] をクリックする
- 7 自動接続をシングルユーザアクセスモードにしたいときは、「詳細設定」の ▼ をクリックし「高度な設定」を選択し、「NATモード」は「シングルユーザアクセス」を選択する
- 8 すでに「複数固定 IP サービス」を選択していた場合は、[複数固定 IP サービスを無効にした・・・] 画面が表示されるので、[OK] をクリックする
- 9 [設定] をクリックする



### お知らせ

シングルユーザアクセスモードに設定した場合、「DMZ ホスティング機能」、「複数固定 IP サービス」、「UPnP 機能」、「PPPoE マルチセッション」との併用はできません。

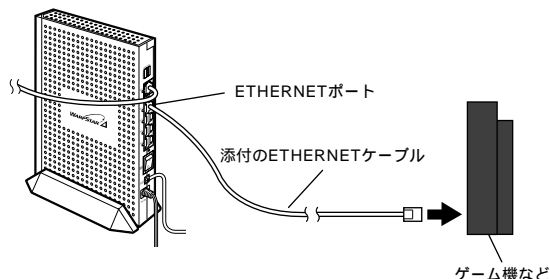
## 6-4 ゲーム機を接続する

親機のETHERNETポートにゲーム機を接続することができます。

### 1 親機のETHERNETポートとゲーム機をETHERNETケーブルで接続する

ETHERNETポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



### 2 ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する

## WARPSTARの設定

WARPSTARの設定は、WARPSTARに接続された別のパソコンから行うか、ゲーム機でWWWブラウザが使用できる場合には、クイック設定Webで設定します。

### 別のパソコンから、らくらくウィザードで設定する

3-1 子機(WL11C2など)から無線LAN接続をする(☞P3-3)

3-2 有線で接続する(☞P3-24)

### クイック設定Webで設定する

4章 クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う(☞P4-1)

### お知らせ

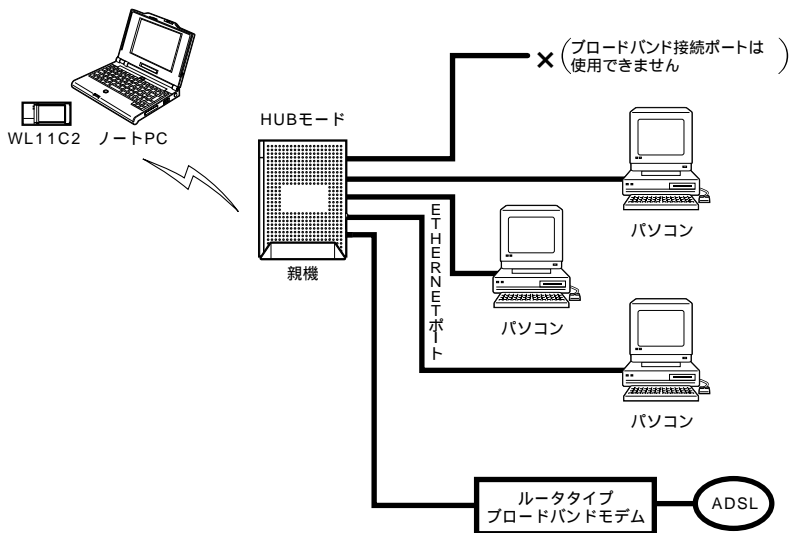
WL11E2(別売り)を子機として使用するとワイヤレスでゲーム機を接続することができます。その場合の設定方法については、WL11E2の取扱説明書をご覧ください。

## 6-5 HUBとして使う (ルータ機能を停止する)

本商品では、HUB（ハブ）モードを利用して、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモデムや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。

本モードは「無線 HUB モード」と同じです。

本モード設定によりルータ機能が停止し、HUB およびワイヤレスアクセスポイントとして動作します。



### お願い

親機を HUB モードに設定すると、全てのルータ機能が利用できなくなります。また、らくらくウィザードやクイック設定 Web による各種設定もできなくなります。設定変更する場合は、ブロードバンドモデムの接続をはずして、ディップスイッチの 2 を [OFF] にし、HUB モードを解除してから、らくらくウィザードやクイック設定 Web で設定を変更してください。

HUB モードをご利用になる場合は、あらかじめらくらくウィザードやクイック設定 Web で無線通信に関する設定を行った後、HUB モードに変更してください。

ブロードバンドモデム等を接続する場合は ETHERNET ポートに接続してください。

(ブロードバンド接続ポートは使用できません。)



### お知らせ

外付けルータタイプのブロードバンドモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用する HUB（無線 HUB）モードをご利用ください。

- ・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
- ・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスレーブポートを十分に引き出すことができないとき

## HUBモード設定

HUBモードを設定するときは次の手順で行います。

無線の設定を変更する場合は、あらかじめクイック設定 Web の「詳細設定」 - 「無線 LAN 側設定」でネットワーク名、暗号化などを変更しておきます。（☞P6-3）

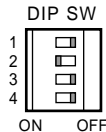


### HUBモードに設定する

ディップスイッチでHUBモードに変更します。

**1** 親機の電源を切る

**2** 親機背面のディップスイッチの2を「ON」にする  
つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



DIP SW2

ON : HUBモード

OFF : 通常モード（初期値）

**3** 親機の電源を入れる

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

HUBモードから通常モードに戻すには、親機の電源を切ってからディップスイッチの2を「OFF」にし、親機の電源を入れなおします。



お願い

ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

（次ページに続く）

6

活  
用  
し  
よ  
う  
W  
A  
R  
P  
S  
T  
A  
R  
を



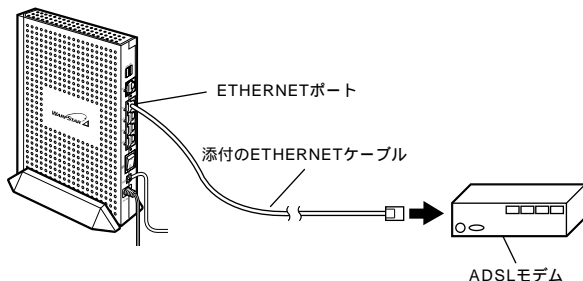
## ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

親機とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

### 1 親機の背面にある ETHERNET ポートとルータタイプのブロードバンドモデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



HUB モードでは、親機背面の一番上にあるブロードバンド接続ポートはご利用になれません。ETHERNET ポートに接続してください。

### 2 モデムの電源を入れる

### 3 親機の電源プラグをコンセントに接続する

電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

HUB モードから通常モードに戻すには、親機の電源を切ってからディップスイッチの 2 を「OFF」にし、親機の電源を入れなおします。

### 4 親機の背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯すれば、LAN ポートは正しく接続されています。

## 6-6 TV電話をする(Windows Messengerを利用する)

本商品とパソコンのUPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンのWindows MessengerやMSN Messengerの次の機能をご利用になることができます。

：使用できます。

- : Windows Messengerの機能としてありません。


機能名	Windows® XP-XP 間の通信	Windows® XP-Me 間の通信	Windows® Me/Me 間の通信
電話をかける			
ファイル転送		4	利用不可 ( 2 )
音声チャット			
ビデオチャット ( 1 )		-	-
アプリケーション共有 ( 1 )		-	-
ホワイトボード ( 1 )		-	-
リモートアシスタンス (ファイル転送機能) ( 1 )		-	-
webサイトを共有 ( 3 )			利用不可 ( 2 )

1 Windows® XP のみの機能です。

2 Windows® XP 以外のOSではUPnPに未対応であり、また「ファイル転送」の方式は、MSN Messenger 5.0/Windows Messenger 4.7 の方式とは変更となっているため、ご利用になれません。

3 MSN Messenger のみの機能です。

4 Windows® XP でMSN Messenger 5.0 利用時のみご利用になれます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、 「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnPの設定をすることで、利用ができます。



### お知らせ

UPnP機能は、Windows® XPまたはWindows® Meのパソコンでのみご利用になれます。

Windows® 2000/NT4.0で、MSN Messenger4.6をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご利用になれます。

「電話をかける」サービスは、別途ブロードバンド接続事業者とのご契約が必要です。

フレッツ・ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジ機能を使用することで、1台のパソコンのみで利用ができます。

ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSLモデムをPPPoEブリッジモードに切り替えて本商品をPPPoEモードに設定するか、本商品を無線HUBモードに設定してお使いください。

## 6-7 親機をバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては、親機の操作を改善します。

[用語] ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

### ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

AtermStation からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

#### お願い

ファームウェアのバージョンアップ中（約2分間）は絶対に本商品の電源を切らないでください。

ファームウェアをバージョンアップするときは、現在使用しているユーティリティでバージョンアップしてください。そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。

お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。

バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows® XP の場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

### ファームウェアをバージョンアップする

#### 自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。本商品からインターネットに接続できる必要があります。

- 1 クイック設定 Web を起動する
- 2 ユーザー名に [ admin ] と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする。
- 3 「メンテナンス」の をクリックし、「ファームウェア更新」を選択する

4 [自動更新(オンラインバージョンアップ)]を選択する

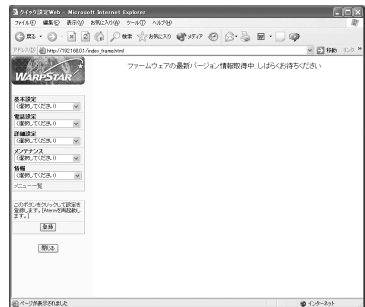


5 [更新]をクリックする

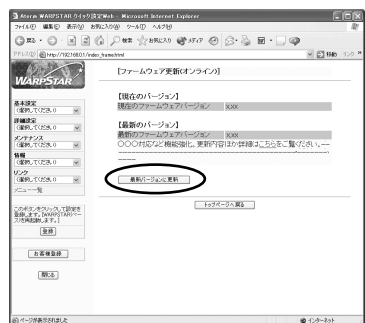
6 [OK]をクリックする



7 次の画面が表示されますので、電源コンセントを取りはずさずにそのまましばらくお待ちください。



8 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックしてください。バージョンの数字が古い場合はここで終了です。



6  
WARPSTARを  
活用しよう

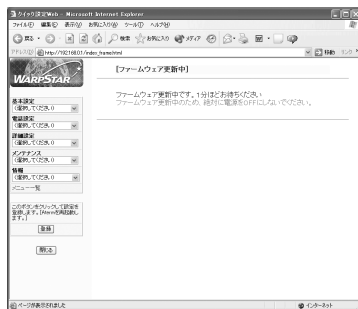
(次ページに続く)

9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください」と表示されます。

途中で回線が切断される場合がありますが、その時は再度回線を接続してお待ちください。

バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10 [OK]をクリックする



## ユーティリティとファームウェアをバージョンアップする

1 AtermStation ( <http://121ware.com/aterm/> ) にアクセスする

2 ダウンロードのバージョンアップの項目からお使いの機種と OS を選択し、[GO] をクリックする

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

インストールが始まります。

詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

### ② こんなときには

- POWER ランプがずっと赤点滅したままになっている -

バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。

## 6-8 2 台目以降のパソコンを接続する

### 子機を増設する

あとから子機を増設するには、次の手順で設定を行ってください。

親機に MAC アドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、「6-1 セキュリティ対策をする」(☞P6-2)を参照して子機の情報に登録しておいてください。



らくらくウィザードをインストールする (☞P3-4)



らくらくウィザードで設定する

「Step2 ドライバのインストールや接続確認」(☞P3-7)のみ行ってください。

Step3 以降は、1 台目のパソコンから設定した内容が親機に書き込まれていますので設定の必要はありません。



親機との通信状態を確認する (☞P6-13、P6-19)



増設した子機からのインターネット接続を確認する (☞P5-2)



#### お知らせ

親機に接続できる子機は「8-2 別売オプション」(☞P8-6)やホームページ AtermStation(「動作検証情報」-[WARPSTAR]ワイヤレスLAN相互接続確認情報)で確認してください。



# ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

7章 お困りのときには .....	7-1
8章 付録 .....	8-1

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 Second Edition は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

ご参考

# 7

## お困りのときには

- 7-1 トラブルシューティング .....7-2
- 7-2 親機を初期化する .....7-24
- 7-3 自己診断 .....7-26



トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、添付 CD-ROM 収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(P 前文-16) 該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、親機を初期化し(P7-24) 初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。(CD-ROM 機能詳細ガイド)

## 設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

親機前面の POWER ランプは点灯していますか？

はい

いいえ  
(a 参照 P7-3)

親機背面のブロードバンド状態表示 LED は点灯していますか？

はい

いいえ  
(b 参照 P7-3)

親機と正しく接続できていますか？

子機からの  
接続の場合

親機と正しく接続されていますか？(らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース(親機)との通信が確立されていません」WARPSTAR に接続できませんと表示される場合は正しく接続されていません)

いいえ  
(c 参照 P7-4)

はい

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？

(確認方法は、P7-6 を参照してください)

はい

いいえ  
(d 参照 P7-6)

親機の設定が行えますか？

WWW ブラウザ(クイック設定 Web) で設定画面が表示できますか？

いいえ  
(e 参照 P7-7)

らくらくウィザードが使用できますか？

いいえ  
(f 参照 P7-8)

はい

< PPPoE モードの場合 >

設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？

いいえ  
(g 参照 P7-8)

< ローカルルータモードの場合 >

- ・ WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？
- ・ クイック設定 Web の [ 情報 ] - [ 現在の状態 ] - [ 状態表示 ] で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？

いいえ  
(h 参照 P7-9)

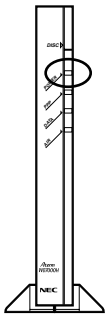
はい

インターネットに接続できましたか？

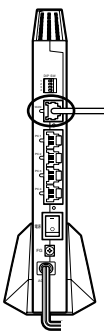
いいえ  
(i 参照 P7-10)

ローカルルータモードの場合は、PPP ランプは点灯しません。

## a. 親機前面の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
<p>POWER ランプが点灯しない</p> 	<p>電源が入っていません。</p> <p>電源コードがはずれている 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。</p> <p>電源スイッチが入っていない 電源スイッチの [ I ] (オン) 側を押してください。</p> <p>電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると親機に供給されている電源も切れてしまいます。</p> <p>電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。</p> <p>親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。</p>

## b. 親機背面のブロードバンド状態表示 LED が点灯しない

症 状	原因と対策
<p>ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。</p> 	<p>ブロードバンドモデム (ADSL モデム / CATV ケーブルモデム) の電源が入っていない。</p> <p>ブロードバンドモデムの電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。</p> <p>HUB モードになっていて、CATV ケーブルモデムとブロードバンド接続ポートを接続していると点灯しません。</p> <p>HUB モードを解除するか、ETHERNET ポートへ接続してください。</p>

c.らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている

症 状	原因と対策
<p>らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」と表示されている</p>	<p>子機（WL11C2）からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください（☞P6-13）。通信状態が範囲外または使用不可の場合サテライトマネージャの設定を確認してください。クイック設定 Web などでもモードの変更、接続先の登録や更新等、ファームウェアのバージョンアップを行った場合などにも、親機が一時的に機能停止状態になるため、このメッセージが表示されます。</p> <p>データ保護（WEP）の暗号化キーが親機、子機間で一致していない</p> <p>親機と子機の設定を確認してください（☞P6-7、6-11、6-17）</p> <p>お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。</p> <p>ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。</p> <p>その場合には、次の手順で設定を確認してください。</p> <p>ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートを空ける。 （アドレス：192.168.0.*、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161）</p> <p>で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールしてください。</p>
<p>親機とワイヤレス子機間の電波状態が悪い</p>	<p>電波の届く範囲まで子機を移動したり、親機や子機の向きをかえたりして電波状態を確認してください。</p> <p>別売りのワイヤレス LAN 外部アンテナ（PA-WL/ANT1）〔121ware（<a href="http://121ware.com/">http://121ware.com/</a>）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）</p>

症 状	原因と対策
<p>Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない。</p>	<p>バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。</p> <p>子機のドライバが正しくインストールされていない場合があります。</p> <p>次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <p>らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」をクリックする  「各種ドライバのアンインストール」をクリックする  画面の指示に従って、アンインストールを行う</p> <p>らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」 - 「各種ドライバのインストール」をクリックする  画面の指示に従ってドライバをインストールする</p>

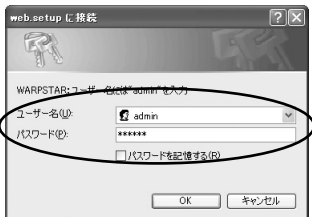
(次ページに続く)

d.パソコンにIPアドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
<p>パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない</p>	<p>パソコンの設定で「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。</p> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順でIPアドレスを取り直す</p> <p>&lt; Windows<sup>®</sup> XP の場合 &gt;          [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。          「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押します。          IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>&lt; Windows<sup>®</sup> 2000 Professional の場合 &gt;          [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。          「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押します。          IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>&lt; Windows<sup>®</sup> Me/98SE/98 の場合 &gt;          [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。          「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。          Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用している Ethernet アダプタ名を選択します。          [解放] をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。          「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックします。          [書き換え] をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p>

## e.WWW ブラウザで設定画面が表示されない(クイック設定 Web が起動しない)

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<p>プロキシの設定をしていませんが プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。</p> <p>Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。</p> <p>[ ツール ] - [ インターネットオプション ] - [ 接続 ] - [ LAN の設定 ] の順にクリックします。</p> <p>[ プロキシサーバを使用する ] の [ 詳細 ] をクリックして、例外に「web.setup」を入れてください。</p> <p>代わりに IP アドレスを入れても表示できます。親機の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。</p> <p>お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります(☞P1-16、1-22)。</p>
WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される	WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 ユーザ名には、[ admin ] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで親機に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 ただし、らくらくウィザードから親機に対して、パスワードを登録した場合は、そのパスワードを入力してください。
ページが正常に開けない	<p>JavaScript が無効に設定されている WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください(☞P1-23)。</p> <p>複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。Web ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス(例えば http://200.200.200.1/)を入力してください。</p>
クイック設定 Web が開かない	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください(☞P1-17)。






(次ページに続く)

f.らくらくウィザードが使用できない

症 状	原因と対策
パソコンのネットワークの設定が正しくされていない	「パソコンのネットワークの確認」の手順で設定を確認してください(☞P1-17)。
らくらくウィザードの [ Step2 ドライバのインストールや接続確認 ] が正常に終了しない(☞P3-7)	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIP アドレスを自動取得に設定してみてください。 子機から接続している場合は、P7-4 らくらくウィザードで「WARPSTARベース(親機)との通信が確立されていません」または「WARPSTARと接続できませんでした」と表示されているの原因と対策を参照してください。

g.PPPoE モードで親機前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない 	パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている 	ブロードバンドモデムの WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプが点灯します。LINE ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対策してください。 対策後、パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	プロバイダ等から送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 接続ユーザー名、接続パスワードが間違っている 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名(ログイン名): 半角、全角 パスワード: 半角、全角、大文字、小文字をあわせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

## h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症 状	原因と対策
<p>クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない</p>	<p>ブロードバンドモデムが WAN 側に接続されていることを確認してください。</p> <p>ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。</p> <p>ブロードバンドモデムの電源が入っているか確認してください。</p> <p>接続事業者から指定された IP アドレス情報が正しく設定されているか確認してください。</p> <p>らくらくウィザード (P3-17、3-30) クイック設定 Web [基本設定] - [接続先設定]</p> <p>ブロードバンドモデムの設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoEブリッジモードの場合は WARPSTAR の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。</p> <p>他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源を一旦切って、20 ~ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。</p> <p>本商品 WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [IP の解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。</p> <p>CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。</p> <p>接続事業者を確認してクイック設定 Web の [接続先設定] からドメイン名やホスト名を入力してください。</p> <p>CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。</p> <p>接続事業者を確認してクイック設定 Web の [接続先設定] からゲートウェイやネームサーバを入力してください。</p> <p>CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。親機の MAC アドレスを申請してください。</p>

(次ページに続く)



## i. インターネットに接続できない

### ADSL 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください(☞P1-17)。
インターネット接続中に回線が切断される	PPPoE モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定 Web の [ 接続先設定 ] の [ 接続先の切断 ] で設定できます。
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない	WAN 側と LAN 側の IP アドレスが同じになっている。 次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が"0.0.0.0"になっている LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を変更します。 "192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。 WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。

症 状	原因と対策
<p>外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない (つづき)</p>	<p>外付けルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。</p> <p>(1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が "0.0.0.0" になっている LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する</p> <p>(2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を "192.168.2.1" など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。 次の手順で親機を HUB モードに設定して接続できるか確認してください。 親機の電源を切る ディップスイッチの 2 を ON にする 親機の電源を入れる 親機のブロードバンド接続ポートと ADSL モデムを接続しているケーブルを外す 親機の ETHERNET ポートと ADSL モデムを接続する それでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。</p>
<p>ADSL (PPPoE) 接続できない</p>	<p>ユーザー ID とパスワードが間違っている ADSL インターネット接続のユーザー ID は、「*****@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。</p> <p>使用する親機の動作モードは正しいですか。 外付け ADSL モデムに接続して使用する場合、お使いの ADSL モデムによって本商品の動作モードが異なります。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。</p> <p>パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 パソコンの PPPoE 機能を使用すると ADSL サービスによっては、パソコンを 1 台しか接続できません。複数のパソコンを同時に接続できる ADSL サービスを契約せずに、同時に 2 台以上接続したい場合は、ADSL モデム用の PPPoE 接続専用ソフトウェアをパソコンからアンインストールしたり、Windows® XP の PPPoE 機能の使用は止めて、再度、本商品のユーティリティで設定し直してください。</p>

症 状	原因と対策
ADSL ( PPPoE ) 接続できない ( つづき )	フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本商品の再起動において、一定時間 ( 最大で 5 分間程度 ) 接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
ADSL ( PPPoE ) 接続に成功してもホームページが開けない	IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。
HUB モードで使用しているが、インターネット接続できない	ADSL モデムをブロードバンド接続ポートに接続していませんか。 HUB モードではブロードバンド接続ポートは使用できません。

## CATV 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	<p>回線側の IP アドレスが取得できていない。            クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん「IP 解放」をクリックしてから「IP 取得」をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。</p> <p>他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたケーブルモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている。            ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。</p> <p>CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。親機の WAN/PC の MAC アドレスを申請してください。</p>
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	<p>ドメイン名、ホスト名が指定されていない。            CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者を確認して WAN 設定の編集からドメイン名やホスト名を入力してください。</p> <p>ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。            CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者を確認して WAN 設定の編集からゲートウェイやネームサーバを入力してください。</p>

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
WAN 側 IP アドレスが取得できない	<p>ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。 WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。</p> <p>クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」をご確認ください。</p> <p>IP アドレスが表示されていない場合は、[ IP 取得 ] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [ IP 取得 ] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。</p> <p>CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。 クイック設定 Web で設定した接続先の場合は、「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「使用する」のチェックを外します。</p> <p>CATV ケーブルモデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。</p> <p>次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。</p> <p>(1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が "0.0.0.0" になっている LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する</p> <p>(2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を "192.168.2.1" など下から 2 桁目を変更して、[ OK ] ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。</p>
しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、「0.0.0.0」になってしまう	

## ユーティリティに関するトラブル

## らくらくウィザードに関する問題

症 状	原因と対策
Windows® XP/2000 で、らくらくウィザードがインストールできない	Administrator 権限のあるユーザでログオンしていない。 「Administrator」権限のあるユーザでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザではインストールが行えません。
らくらくウィザードのメニューボタンに押せないものがある	親機の電源が入っていない。 親機の電源が入っているか確認してください。 インストール時の設定が完了されていない場合は、一部のボタンは使えません。 ドライバのインストールが正しく行われていない場合は、最初に「ドライバのアンインストール」を実行して古いドライバを削除してから、らくらくウィザードを起動してドライバのインストールと基本の設定をやり直してください。
らくらくウィザードの「システムの状態」で「WARPSTAR ベースとの接続状態」が「確立されていません」と表示される	親機との接続ができていません。C.らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている（☞P7-4）を参照して親機との接続を確認してください。

(次ページに続く)

7

お困りのときは

症 状	原因と対策
<p>らくらくウィザードの「システムの状態」で「サテライト (WL11C2) ドライバ」が「正しくインストールされていない」と表示される</p>	<p>子機 (WL11C2) のドライバが正しくインストールされていません。  次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <p>らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」をクリックする  「各種ドライバのアンインストール」をクリックする  画面の指示に従って、アンインストールを行うらくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」 - 「各種ドライバのインストール」をクリックする  画面の指示に従ってドライバをインストールする  上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。</p> <p>Windows® XP の場合  [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする  [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする  [システム] アイコンをダブルクリックする  [ハードウェア] タブをクリックする  [デバイスマネージャ] をクリックする  [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする  [WARPSTAR WL11C2] を右クリックし、  [プロパティ] を表示する  [全般] タブで [ドライバの再インストール] をクリックする</p> <p>以降は、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」 - 「子機の使い方」のドライバのインストールを参照してください。</p> <p>Windows® 2000 Professional の場合  [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする  [システム] アイコンをダブルクリックする  [ハードウェア] タブをクリックする  [デバイスマネージャ] をクリックする  [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする  [WARPSTAR WL11C2] を右クリックし、  [プロパティ] を表示する  [全般] タブで [ドライバの再インストール] をクリックする</p> <p>以降は、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」 - 「子機の使い方」のドライバのインストールを参照してください。</p> <p>Windows® Me/98SE の場合  [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする  [システム] アイコンをダブルクリックする  [デバイスマネージャ] タブをクリックする  [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする  [WARPSTAR WL11C2] を右クリックし、  [プロパティ] を表示する  [全般] タブで [ドライバの再インストール] をクリックする</p> <p>以降は、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」 - 「子機の使い方」のドライバのインストールを参照してください。</p>

## クイック設定 Web に関する問題

症 状	原因と対策
バージョンアップに失敗して、親機の POWER ランプが赤点滅している	フラッシュ ROM に書かれているプログラム (ファームウェア) が消えています。 NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります (☞ P8-10)。
管理者パスワードを忘れてしまった	親機を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます (☞ P7-24)。 ただし、クイック設定 Web の [メンテナンス] - [設定値の保存 & 復元] で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。 (☞ ROM 機能詳細ガイド)
本商品のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。「情報」の「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
[設定] ボタンを押しても、状態が反映されない	登録ボタンを押していない。 各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の [登録] ボタンを押し、親機を再起動する必要があります。
[登録] ボタンを押した後に、「ページを表示できません」と表示される	親機が再起動しているためです。 [登録] ボタンを押すと、親機が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。



(次ページに続く)



## サテライトマネージャに関する問題

症 状	原因と対策
<p>子機が使えない</p> <p>[ サテライトマネージャ ] アイコンが使えない状態 (青表示) にならない 通信状態が「範囲外」となる</p>	<p>親機の電源が入っているか確認してください。</p> <p>通信モードがあっているか確認してください。親機との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。</p> <p>通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、[ 設定 ] をクリックして確認します。</p> <p>ネットワーク名 (ESS-ID) があっているか確認してください。</p> <p>親機の設定値は、クイック設定 Web の「詳細設定」 - 「無線 LAN 側設定」内の「アクセスポイント設定」で確認できます。</p> <p>親機の出荷時設定は、WARPSTAR- xxxxxx (xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁) です。</p> <p>通信モードが「パソコン間通信」の場合は、チャンネル番号が一致しているか確認してください。</p> <p>通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。</p> <p>親機との距離が離れすぎでないか確認してください。</p> <p>子機のランプのつき方 (☞ P1-13) を確認してください。</p> <p>消灯している場合は子機が親機を正しく認識していません。らくらくウィザードの [ インストール時の設定 ] - [ Step2 ドライバのインストールや接続確認 ] で親機との通信の設定をやり直してください。</p> <p>コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。</p> <p>お互いを数メートル以上離してお使いください。</p>
<p>[ サテライトマネージャ ] は使える状態 (青表示) になるが親機に接続できない</p>	<p>データ保護を有効にしている場合は、親機と暗号化キーが一致しているか確認してください (☞ P6-7、6-11、6-17)。</p> <p>Windows® XP をご利用の場合は、[ Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする ] 設定になっていることを確認してください (☞ P6-15)。</p>

症 状	原因と対策
子機が使えない (つづき)	<p>ネットワーク名を忘れてしまった</p> <p>有線 LAN (ETHERNET ポート) のパソコンから、クイック設定 Web の [ 詳細設定 ] - [ 無線 LAN 側設定 ] で設定し直してください (☞P6-3)。 サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「スキャン」をクリックして親機を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できません。 本体背面のディップスイッチ設定による初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください (☞P7-25)。出荷時のネットワーク名の設定は「WARPSTAR-xxxxxx」になっています (xxxxxx は本体側面の MAC アドレスの下 6 桁) です。</p>
「ネットワークの参照」で親機が見つからない	<p>電波状態により「ネットワークの参照」で親機の電波を検出できない場合があります。このような場合は、[ 新規登録 ] で直接ネットワーク名 (ESS-ID) を入力してください。 クイック設定 Web の [ 詳細設定 ] - [ 無線 LAN 側設定 ] の「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に回答しません。 [ 新規登録 ] で直接ネットワーク名 (ESS-ID) を入力してください。ETHERNET 接続のパソコンから「子機の接続制限」をはずして、「ネットワークの参照」で検索してください。 子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 Ethernet インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。 LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させてから、らくらくウィザードの設定を行ってください (☞P3-15、3-16)。</p>
データ保護設定 (暗号化) のキーを忘れてしまった	<p>有線 LAN (ETHERNET ポート) に接続したパソコンから、クイック設定 Web の [ 詳細設定 ] - [ 無線 LAN 側設定 ] で設定し直してください (☞P6-7)。 親機を工場出荷状態に戻してください。暗号化がすべてクリアされます (P7-25)。</p>
無線状態が良好なのに通信できない	<p>「無線状態が良好なのに通信できない」 (☞P7-21) を参照してください。</p>

## ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p>[OK] をクリックして次の手順でIP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIP アドレスを再取得してください。</p> <p>&lt; IP アドレスの再取得 &gt;</p> <p>&lt; Windows® XP の場合 &gt;</p> <p>[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>&lt; Windows 2000® Professional の場合 &gt;</p> <p>[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>&lt; Windows® Me/98SE/98 の場合 &gt;</p> <p>[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。</p> <p>「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。</p> <p>Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択します。</p> <p>[解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認します。</p> <p>「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックしてへ進んでください。</p> <p>[書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p>

症 状	原因と対策
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない ( PPPoE モード、ローカルルータモード共通 )</p>	<p>本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れな いでください。 10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れて ください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定される ためには、パソコンよりも本商品の方が先に 電源が立ち上がって装置内部の処理が完了し ている必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電 源を入れる。 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。 b. P7-20 の「IP アドレスの再取得」を行っ てください。</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができ ない ( PPPoE モードの場合 )</p>	<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていること を確認してください。 ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立し ていることを確認してください。</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができ ない ( ローカルルータモードの場合 )</p>	<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていること を確認してください。 ブロードバンドモデムと本商品の電源投入順 序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが 正しく取得できないことがありますので、ク イック設定 Web の [ 情報 ] - [ 現在の状態 ] で [ IP 解放 ] をクリックしてから [ IP 取得 ] をクリックして IP アドレスを更新してくださ い。</p>
<p>本商品が正常に動作しないが、原因がわから ない</p>	<p>設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、購入時の状態 に戻し、最初から設定し直してください。</p>
<p>無線状態が良好なのに速度がでない</p>	<p>近くに隣接する無線チャンネルを使っている人が いる 無線チャンネルを確認して、別のチャンネルに 変更してください。 親機と子機が近すぎる 1m 以上離してください。</p>
<p>無線状態が良好なのに通信できない</p>	<p>IP アドレスの再取得 ( ←P7-20 ) を参照 して、IP アドレスが取得できるか確認してくだ さい。 固定 IP アドレスでお使いの場合は、親機と子 機に接続しているパソコンのネットワーク体 系を一致させてください。 ( 例 : 親機が 192.168.0.1 のとき、子機は 192.168.0.X ) LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停 止させてください ( ←P3-13、3-15 )</p>

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	無線状態が悪い 電波状態が良好となる場所に移動してください。 AVサーバのレートを下品質に下げてください。
本商品のバージョンを確認したい	次の方法で確認できます。 ・クイック設定 Web「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。 ・らくらくウィザード「システムの状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。
らくらくウィザードが使用できない	使用可能状態において突然、「Aterm WARPSTARが見つかりません。・・・」と表示される  [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <Windows® XPの場合> 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」をクリックします。 "ipconfig /renew"を入力して [Enter] キーを押します。 IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。 <Windows® 2000 Professionalの場合> 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」をクリックします。 "ipconfig /renew"を入力して [Enter] キーを押します。 IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。 <Windows® Me/98SEの場合> 「スタート」「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。 "winipcfg"を入力して [OK] をクリックします。 使用している Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから親機と接続しているアダプタ名 (WARPSTAR WL11C2) を選択します。 「解放 (S)」をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。 「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。 「書き換え (N)」をクリックして、IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。

## 添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
メニュー画面を表示したくない	<p>CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。</p> <p>表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <p>不要な場合はメニューの [ 終了 ] をクリックします。</p> <p>Windows® XP/2000Professional/Me/98SE/98 の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。</p> <p>Windows® Me/98SE/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます (ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります)。</p> <p>[ コントロールパネル ] の [ システム ] をダブルクリックする</p> <p>[ デバイスマネージャ ] タブの [ CD-ROM ] をダブルクリックする</p> <p>使用する CD-ROM ドライブをクリックし、[ プロパティ ] をクリックする</p> <p>[ 設定 ] タブをクリックする</p> <p>[ オプション ] の [ 自動挿入 ] または [ 挿入の自動通知 ] のチェックをはずす</p> <p>[ OK ] をクリックし、Windows® Me/98SE/98 を再起動する</p>

## 7-2 親機を初期化する

初期化とは、親機に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。親機がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、親機を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

- クイック設定 Web で初期化する（☞ 下記）
- ディップスイッチで初期化する（☞ P7-25）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした親機のファームウェアはそのままです。

## クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する


2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

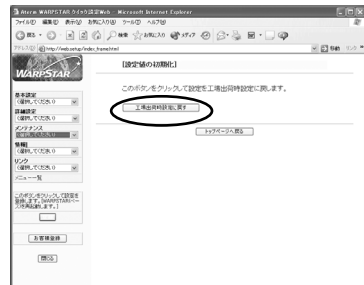
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[ OK ] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [メンテナンス] の  をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



6 [ OK ] をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

## ディップスイッチで初期化する

親機のディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、背面にあります。

### 1 親機の電源を切る

### 2 親機の背面のディップスイッチの 3、4を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



### 3 親機の電源を入れる

前面ランプが交互に点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

### 4 親機の電源を切る

### 5 ディップスイッチの3、4を「OFF」 に戻す



### 6 親機の電源を入れる

#### お願い

親機の設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

暗号化を行っていた親機を初期化した場合、暗号化の設定も初期化されるので、子機から親機に接続できなくなります。子機の暗号化設定を解除してください。

ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。



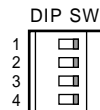
自己診断を行うと、親機のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

### 自己診断を行う

- 1 親機のETHERNETポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取りはずす
- 2 親機の電源を切る
- 3 ディップスイッチの3を「ON」にする  
つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。
- 4 親機の電源を入れる  
自己診断を開始します。  
<診断中のランプ表示>  
POWERランプが橙色に点灯します。  
  
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、POWERランプが橙色／緑色と交互に点滅します。
- 5 親機の電源を切る
- 6 ディップスイッチの3を「OFF」に戻す
- 7 親機の電源を入れる  
電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。
- 8 取りはずしたケーブルを接続する



お願い

ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

### ? 異常が発見されたときは

自己診断の手順4で、正常に終了せず、異常が発見されたときは、最寄りのNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。(☎P8-10)

ご参考

# 8

## 付録

8-1	製品仕様.....	8-2
8-2	別売りオプション.....	8-6
8-3	お問い合わせ・アフターサービス.....	8-7
8-4	用語解説.....	8-15
8-5	索引.....	8-17

## 8-1 製品仕様

## WB7000H2 (親機) ハードウェア仕様

項目		諸元および機能	備考
WAN インタ フェース	インタフェース	ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX/10BASE-T)	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	スイッチング HUB	ストア&フォワード方式、 Mac アドレス数: 1024 (自動学習)	
	全二重/半二重	全二重/半二重	自動切換
無線 LAN インタ フェース	規格	IEEE802.11b(無線 LAN 標準プロトコル) RCR STD-33、ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)	
	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2400 ~ 2497MHz) / ch1 ~ ch14	
	伝送方式	DS-SS 方式 (スペクトラム直接拡散方式)	
	伝送速度 ( 1 ) (Mbps)	11.0/5.5/2.0/1.0	
	伝送距離	[見通し] 50m(11Mbps)~ 180m(1Mbps)	環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)	
	セキュリティ	ESS-ID、64bitWEP/128bitWEP、 MAC アドレスフィルタリング	
ヒューマン インタ フェース	状態 表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯
		PPP	PPP セッション確立時点灯
		DATA	データ通信時点灯
		AIR	無線データ通信中点灯
		DISC	WAN 側と接続中点灯
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法		約 25(W) × 157(D) × 215(H) mm	突起部分を除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力		最大 8W	
質量(本体のみ)		0.6kg	
VCCI		VCCI クラス B	

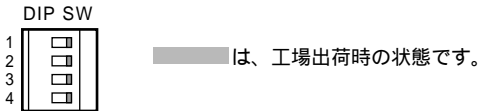
表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

## WB7000H2のディップスイッチ

親機の背面にディップスイッチ（DIP SW）があります。ディップスイッチは以下の～の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

- 自己診断するとき（☞P7-26）
- 購入したときの状態に戻すとき（☞P7-25）
- HUBモードを利用するとき（☞P6-27）

### ディップスイッチ工場出荷時の設定



### ディップスイッチの変更

1	2	3	4	内容
OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	ON	OFF	自己診断
OFF	OFF	ON	ON	購入したときの状態に戻す
OFF	ON	OFF	OFF	HUBモード

は、工場出荷時の状態です。

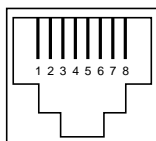


### お知らせ

電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

## WB7000H2のETHERNETポートインタフェース

### コネクタ形状



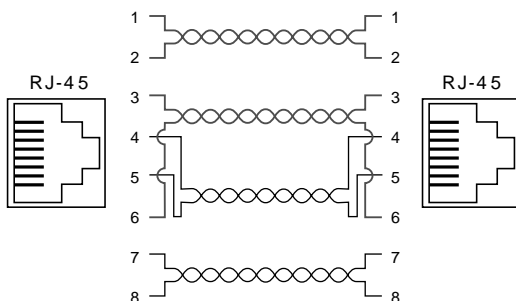
### ETHERNETポート (100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

### ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

### ETHERNET ケーブル ( カテゴリー 5 )



## WL11C2 (子機) 仕様

## 仕様一覧

項目		諸元	備考
端末インタフェース		PCカードTYPE	
無線LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66	無線LAN標準 プロトコル 小電力データ通 信システム規格
	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯(2400~2497MHz)/ ch1~ch14	
	伝送方式	DS-SS方式(スペクトラム直接拡散方式)	
	伝送速度(1) (Mbps)	11.0/5.5/2.0/1.0	自動フォール バック
	伝送距離	[見通し]50m(11Mbps)~180m (1Mbps)	環境により変 動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ(内蔵)	
セキュリティ	ESS-ID、64bitWEP/128bitWEP		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED x 2	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機	
利用可能OS		Windows® XP日本語版 Windows® 2000 Professional日本語版 Windows® ME日本語版 Windows® 98 SE日本語版	
電源		DC5V x 300mA	パソコンから 給電
消費電力		約1.5W(最大)	
外形寸法(mm)(W x H x D)		約54 x 8 x 119	
質量		約0.06kg	
動作環境		温度0~40 湿度10~90%	結露しないこと

- 1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。
- 2 単体で購入された場合は、WARPSTAR ベースに添付されているCD-ROM 収録のソフトウェア、または最新のバージョンのソフトウェアを使用して設定を行ってください。

## 8-2 別売りオプション

ワイヤレス LAN セットのオプションとして次の製品を別売しています。既に製造を終了した製品もあります。詳しくは、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

### ワイヤレス LAN カード

Aterm WL11C2 (PA-WL/11C2)  
 Aterm WL54AG (PA-WL/54AG)  
 Aterm WL11CB (PC-WL/11CB)  
 Aterm WL11CA (PC-WL/11CA)  
 Aterm WL11C (PC-WL/11C)

子機として増設できます。

WL11C での暗号化は通常の WEP (40bit) になります。

### ワイヤレス LAN USB ボックス

Aterm WL11U (PC-WL/11U)  
 Aterm WL11U (W) (PC-WL/11U (W))

子機として増設できます。

パソコンと USB で接続します。

WL11U/WL11U(W)での暗号化は通常の WEP (40bit) になります。

### ワイヤレス LAN ETHERNET ボックス

Aterm WL11E (PA-WL/11E)  
 Aterm WL11E2 (PA-WL/11E2)

子機として増設できます。

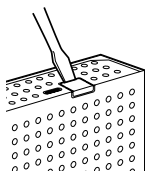
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。

### ワイヤレス LAN 外部アンテナ (PA-WL/ANT1)

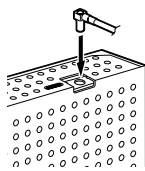
電波状態が悪いときなど、親機または子機に接続して使用します。

ただし、周囲の電波状況や壁の構造 (鉄筋壁、防音壁、断熱壁) などにより、改善状態は異なります。(改善できないこともあります。)

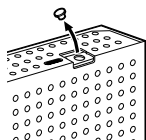
#### WB700H2 とワイヤレス LAN 外部アンテナを接続する場合



マイナスドライバなどを使ってアンテナコネクタカバーを取りはずす。(アンテナコネクタカバーは、一度取りはずすと元にもどせません。)



外部アンテナ (PA-WL/ANT1) コネクタを垂直に差し込む。



アンテナコネクタ部分のゴムキャップをはずす。

## ご注意


掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。




## ご注意 リーンスポットの訪問サポート

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## 8-4 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付のCD-ROM(「ユーティリティ集」)に収録されている「用語解説」を参照してください。

## 【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速(下り 1.5 ~ 26Mbps)で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation (エータームステーション)	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は <a href="http://121ware.com/aterm/">http://121ware.com/aterm/</a> (2003年7月現在)。
BIGLOBE (ビッグローブ)	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像/音声のをせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例: 192.168.0.10)。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。



PPPoA	PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM (Asynchronous Transfer Mode)の上でPPP通信を行うための接続方式です。ATM上でダイヤルアップ接続 (PPP接続)と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。 ADSLでもPPPoEと並び使用される通信方式。
PPPoE	PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET上でダイヤルアップ接続 (PPP接続)と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。
UPnP	Universal Plug and Play (ユニバーサルプラグアンドプレイ)の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。 ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PnP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。

## 【あいうえお順】

### 【あ行】

アップリンクポート	カスケード接続用ポートとも呼びます。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクという。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ/ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替える。
-----------	--

### 【か行】

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。
--------	---

### 【さ行】




サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
-----	--

### 【は行】

プロトコル	通信規約。システム (コンピュータやネットワーク)同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
-------	---




### 【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
-----	-------------------------------------


[ 数字 ]	
100BASE-TX / 10BASE-T スイッチング HUB ( 4 ポート ) .....	 3-21、3-34
128bitWEP .....	 3-23、3-36 ~取得 ..... 1-17
[ A ~ Z ]	
ACT ランプ .....	1-13
ADSL モデム ...2-4、3-20、3-33、4-4	
AIR ランプ .....	1-11
AtermStation.....	8-7
B フレッツ .....	3-20、3-33、4-4
CATV モデム .....	1-14、2-4
CD-ROM.....	前文-16、1-10
DATA ランプ.....	1-11
DHCP クライアント機能 .....	3-21、3-34、 
DHCP サーバ機能 .....	
DISC スイッチ .....	1-11
~で回線を切断する.....	5-3
DISC ランプ .....	1-11
DMZ 機能 .....	
DMZ ホスティング機能 .....	
DNS ~フォワーディング .....	
プライマリ/セカンダリ~ .....	3-21、3-34
ESS-ID .....	6-3
ETHERNET ポート .....	1-12
~インタフェース.....	8-4
~にパソコンを接続する .....	3-24
ETHERNET ポート状態表示 LED .....	1-12、3-24
ETHERNET ボックスマネージャの 使いかた .....	
FG 端子 .....	1-12、2-3
FTTH 回線終端装置 .....	1-15、2-4
HUB として使う .....	6-26
HUB モード .....	6-27、 
~に設定する .....	6-27
IEEE802.11b 無線 LAN .....	
IP アドレス .....	3-21、3-34
WAN 側 ~ が正しく設定されて いない場合 .....	3-23、3-36
~取得 .....	1-17
IP パケットフィルタリング .....	
JavaScript .....	1-23
MAC アドレス ~セキュリティ機能 .....	6-5、 
~を登録する.....	6-5
PC カードコネクタ .....	1-13
PC カードスロット .....	3-8
PC クリーンスポット .....	8-8
POWER ランプ .....	1-11、2-4
PPPoE 接続ツール .....	1-15
PPPoE ブリッジ .....	
PPPoE ブリッジ機能 .....	6-22
PPPoE モード.....	3-20、3-33、4-4
PPP キーブアライブ.....	
PPP ランプ .....	1-11
PWR ランプ .....	1-13
RIP .....	
TCP/IP .....	1-15、1-17、1-18、1-19、1-21
TV 電話 .....	6-29
~をする .....	6-29
T V 電話をする ( Windows Messenger を利用する ).....	
VPN パススルー機能.....	
WAN 側機能 .....	
WAP 機能 ( 無線 HUB モード ).....	
WB7000H2 ( 親機 ).....	1-11
~を設置する.....	2-2
~とパソコンを接続する .....	3-24
Web 設定画面での設定方法 ( クイック設定 Web ) .....	
WEP .....	6-8
64bit/128bit ~ .....	6-8
WL11C2 ( 子機 ).....	1-13
~とパソコンに取り付ける .....	3-3、3-8
~を増設する .....	6-33


WWW ブラウザの設定.....1-22

[ ア行 ]

アース線 .....前文-8、1-12、2-3  
アクセスログ機能 .....   
アドバンスド NAT  
    (IP マスカレード) .....   
アドバンスド NAT オプション  
    (ポートマッピング).....   
アフターサービス.....8-7  
アンインストール  
    子機のドライバの~ .....3-14  
暗号化キー.....6-7  
安全に正しくお使いいただくために 前文-4  
インストール  
    らくらくウィザードを~ ...3-4、3-25  
インターネット  
    ~に2台目以降のパソコンから  
        接続する .....6-33  
        ~に接続する .....5-2、6-33  
        ~を切断する.....5-3  
インターネット接続の基本設定  
    .....3-17、3-30  
    クイック設定 Web .....4-3  
インタフェース.....8-4  
インフォメーションサービス.....8-7  
置き場所を決める.....2-2  
お問い合わせ先.....8-7  
オプション.....8-6

[ カ行 ]



回線契約 .....1-14  
外部アンテナコネクタ .....1-13  
外部にサーバを公開する .....   
確認する  
    親機と子機の通信状態を~  
        .....6-13、6-19  
    ファームウェアのバージョンを~  
        .....7-22  
各部の名前とはたらき .....1-11  
管理者用パスワード .....3-17、3-30

~の設定 .....   
~を忘れた場合 .....3-23、3-36





起動

    サテライトマネージャを~ .....6-9  
    らくらくウィザードを~ ...3-6、3-27

機能

    ~一覧.....前文-14  
    ~詳細ガイド.....前文-14  
「機能詳細ガイド」目次 .....前文-14  
クイック設定 Web .....4-1  
    ~で初期化する .....7-24  
    ~で設定する .....4-5、4-9、  
        6-3、6-5、6-7、6-20  
ゲートウェイアドレス .....3-21、3-34  
ゲーム機を接続する .....6-25  
構成部品 .....1-10  
購入時の状態に戻す(初期化) .....7-24  
子機の増設 .....6-33  
子機(WL11C2)のドライバを  
    インストールする .....   
固定IPサービス対応  
    (複数アドレス拡張).....   
ご利用開始後のトラブル .....7-20


[ サ行 ]

サスペンド機能.....3-3  
サテライトマネージャ.....6-9  
    ~を起動する.....6-9  
    ~で親機との通信状態を確認する...6-13  
    ~で子機の通信の設定をする .....6-10  
    ~の使い方 .....6-9、6-12、   
修理先一覧 .....8-10  
修理について.....8-9  
情報表示(装置情報、状態表示).....   
初期化 .....7-24  
シングルユーザアクセスモード  
    .....6-23、   
静的ルーティング .....   
製品仕様.....8-2  
セキュリティ機能.....6-2


## 接続する

FTTH 回線終端装置と～	2-4
インターネットに～	5-2
ハブを～	6-28
ブロードバンド (ADSL/CATV)	
モデムと～	2-4
無線 LAN ～	3-3
ルータタイプの ADSL	
モデムを～	6-28
設置に関するトラブル	7-2
設定	
既存のネットワークに本商品を追加 するための～をする	1-7、6-26
クイック設定 Web	4-3
接続回線と親機の動作モードを～する	3-20、3-33、4-4
設定値の初期化	7-24
設定方法について	導入-1
セットアップの流れ	導入-2
ソフトウェアのご使用条件	前文-2


## [ 太行 ]

ダイナミックポート	
コントロール機能	
縦置きスタンド	2-2
～を取り付ける	2-2
停止	
LAN カードおよび LAN ボード	
機能を～	3-15、3-16
ルータ機能を～	6-26
ディップスイッチ	1-12、7-25、8-3
～で初期化する	7-25
できること	1-2
電源コード	1-12、2-3
電源スイッチ	1-12、2-4
電源を接続する	2-3
電子マニュアル	前文-16
～の見かた	前文-16
添付 CD-ROM に関するトラブル	7-23
動作モード	2-6、3-11、3-20、3-33、4-4





## 登録

インターネット接続先の～	3-17、3-30
ドメイン名	3-21、3-34
ドライバの手動インストール (Windows®)	
方法	
トラブルシューティング	7-2

## [ ナ行 ]

日時の設定	
ネットワーク	
既存の～に接続する	6-26
～の確認	1-17
パソコンの～の確認	1-17
ネットワークゲーム	6-20
ネットワーク対応アプリケーション	6-20
ネットワーク名	3-9、3-38、6-3

## [ 八行 ]

バージョンアップ	6-30
はじめに (マニュアル構成)	表 2
パソコン間通信 (アドホックモード)...	
パソコンの準備	1-15
パソコンを接続する	
親機に～	3-24
子機に～	3-8
ファイアウォール	1-16
ファイルとプリンタの共有 (Windows®)	
不正アクセス検出機能	
ブロードバンドルータ	1-2
ブロードバンド接続ポート	1-12、2-4
ブロードバンド接続ポート	
状態表示 LED	1-12、2-4
～が点灯しないとき	2-5
ブロードバンドルータ機能	
プロバイダ	1-14
別売りオプション	8-6
訪問サポート	8-8
ホスト名	3-21、3-34

---

## [ マ行 ]

### 無線 LAN

～内蔵パソコンから接続する .....3-37

無線 LAN 機能..... 

無通信監視タイマ ..... 

目次.....前文-11

---

## [ ヤ行 ]

ユーティリティ ..... 

～の使いかた ..... 

ユーティリティに関するトラブル .....7-15

用語解説 .....8-15

---

## [ ラ行 ]

らくらくウィザード .....導入-1

～で設定する

.....3-7、3-17、3-28、3-30、3-39

～のインストール .....3-4、3-25

～を起動する .....3-6、3-27

利用できるワイヤレス子機 .....6-33


ルータ機能 ..... 

ローカルルータモード

.....3-20、3-34、4-6

---

## [ ワ行 ]

ワイヤレス LAN 中継..... 

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

## 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

## ご注意

- （１）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- （２）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- （３）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- （４）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- （５）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

## ご注意

AtermStationホームページアドレス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制